

令和4年度

岩手大学農学部年報

Vol.28

IWATE UNIVERSITY

2022

岩手大学農学部

農学部年報第 28 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 伊藤菊一

近年の人工知能（AI）をはじめとする先端技術の発展には目を見張るものがあり、農学の領域においてもこれらの最新デジタルテクノロジーとどう向き合うか、あるいは、どう上手に活用するか、といったことが様々な場で話題になっています。例えば、DX（Digital Transformation）という言葉が最近よく耳にしますが、情報を基盤とした最新技術の開発や普及を通じて社会の変革や変容をもたらすことがDXの定義であるとされています。このようなデジタルテクノロジーは、近未来予測の精度を上げると共に、各種制御等をより精密なものにしていく可能性があり、社会の発展に大きく寄与するでしょう。

一方、我々農学部が対象とする「生き物」や「フィールド」等に目を向けると、予測が容易な「線形」で近似されるシステムとは異なる、予測が困難な「非線形」を特徴とする世界の存在に気付かされます。このような「非線形」の領域をどのようにデジタルテクノロジーに結びつけていくかという点は、今後さらなる発展の余地が残されているように思われます。

農学部で展開されている教育・研究・社会貢献は、変化を遂げようとしている現代社会に対応するとともに、その先を見据えたものでもあります。

本年報が「地域の知の府」として地域と社会に貢献する現在の農学部の活動の記録として、多方面で活用されることを願っております。

令和5年9月

目 次

農学部年報第28号の刊行によせて

令和4年度の活動概要

1	トピックス	3
2	年間主要行事	5
3	広報等活動状況	7
教員・スタッフ		
1	学部教員	
	(1) 植物生命科学科	11
	(2) 応用生物化学科	12
	(3) 森林科学科	13
	(4) 食料生産環境学科	14
	(5) 動物科学科	16
	(6) 共同獣医学科	17
2	附属施設教員	
	(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	19
	(2) 附属動物病院	19
	(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター	19
3	技術部	21
4	学会等の開催	27
5	研究助成	28
6	非常勤講師	30
7	委員会一覧	36
学 生		
1	入試	
	(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等	41
	(2) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点	41
	(3) 入学者選抜状況	42
	(4) 学校推薦型選抜入学選抜状況	43
	(5) 植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況	43
	(6) 大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況	43
	(7) 大学院獣医科学研究科（博士課程）選抜状況	45
2	カリキュラム	
	(1) 植物生命科学科	46
	(2) 応用生物化学科	47
	(3) 森林科学科	48
	(4) 食料生産環境学科	49
	(5) 動物科学科	52
	(6) 共同獣医学科	53

3	学部学生	
	(1) 入学年度別在籍者数	54
	(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況	54
	(3) 卒業生数	55
	(4) 卒業者の進路状況	55
4	大学院修士課程	
	(1) 在籍者数	56
	(2) 修了者数	56
	(3) 修了者の進路状況	57
	(4) 修士論文一覧	58
5	大学院博士課程	
	(1) 岩手大学大学院獣医学研究科	60
	(2) 岩手大学大学院連合農学研究科	61
	(3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科	63
	国際交流	
1	海外渡航	67
2	外国人研究者の受入	67
3	留学生の受入	68
4	交換留学生の派遣と受入	68
	地域交流	
1	セミナー・公開講座等の開催	71
	(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの	71
	(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの	77
	(3) 公開講座等	79
2	その他の地域連携事業	83
	(1) いわてアグリフロンティアスクール	83
	(2) AFR（岩手農林研究協議会）	85
3	受託研究員の受入	86
	附属施設	
1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	89
	1-1 地域フィールド総合科学分野	
	(1) 概要，教育研究の内容	
	(2) 地域貢献	
	1-2 持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 実習等	
	(4) 土地利用計画	
	(5) 家畜	
	(6) 農畜産物売払高	
	1-3 循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 御明神演習林	
	(4) 滝沢演習林	
	(5) 林産物の販売	

2	附属動物病院	95
	(1) 概要	
	(2) 診療状況	
	(3) 臨床教育の内容	
3	附属植物園	99
	(1) 概要	
	(2) 主な構成	
	(3) 園内概況	
	(4) 植物園・ガラス温室利用状況	
4	附属農業教育資料館	104
	(1) 概要	
	(2) 展示資料	
	(3) 入館者数	
	(4) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
5	附属動物医学食品安全教育研究センター	106
	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
6	附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター	108
	(1) 概要	
	(2) 活動内容	
	事務組織等	
1	事務組織	113
2	令和4年度予算関係	113
3	職員の動向	114
	(1) 教育職員	
	(2) 事務職員	
	(3) 技術職員	

令和4年度の活動概要

1. トピックス

【農学部創立120周年】

農学部は、前身の盛岡高等農林学校が明治35年に開学して以来、令和4年で創立120周年を迎えた。また、農学部北水会は、令和2年に発足100周年を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、式典等が延期され、令和4年7月1日に「岩手大学農学部創立120周年並びに北水会発足100周年記念式典・講演会・祝賀会」として、ホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGにて盛大に開催された。記念式典及び講演会には約300名、祝賀会には約200名が参加した。

さらに、農学部単独では令和4年10月15日に農業教育資料館にて「岩手大学農学部の過去、現在、そして未来」をテーマに農学部創立120周年記念講演会を行い、約30名が参加した。

【附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センターの設置】

東北地域で重要な産業動物分野を支える獣医師育成の拠点構築を目指し、令和4年6月1日に附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（略称：FCD）が設置された。同センターは、企画調整部門、産業動物実習部門及び、感染症制御部門の3部門で構成され、産業動物の臨床教育と実践的な参加型臨床実習を行う拠点として、産業動物臨床教育の向上のための支援、家畜疾病制御の教育研究体制の整備、学部・大学院の教育に加え卒業教育（リカレント教育）の充実に取り組んでいく。

初代センター長には、共同獣医学科の寺嶋淳教授が就任し、特任教員2名を採用・配置した。

特任教員を中心に、共同獣医学科、動物病院の教員と連携する体制を構築し、東京農工大学の獣医学生を受け入れての参加型臨床実習の実施、FCD設立シンポジウムを開催し日本全国への広報活動、東日本の国・私立獣医系大学の産業動物臨床系教員と産業動物臨床実習に係る実習の質の向上を図るための枠組みを構築した。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応】

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じての年度スタートとなったが、徐々に緩和された。

入学式は、岩手県民会館において入学生及び大学関係者のみの入場とし、学部生の入学式は2部制での開催となった。4月14日からは対面での授業が開始された。

8月のオープンキャンパスは、3年ぶりに対面で開催した。農学部研究室紹介は、事前予約・入替制で1回あたりの入室可能人数を制限して実施し、818名の参加があった。

大学院修了式・卒業式は、修了生・卒業生及び大学関係者に加えて保護者も各家庭2名まで入場可能となり、岩手県民会館で開催された。昨年度に引き続き、学部生の卒業式は2部制での開催となった。

【国際交流】

(1) アメリカオーバン大学との学術交流

平成10年に締結された「学術交流に関する協定書」に基づき、学術交流の一環として平成16年から学生交流が行われている。令和4年度は、協定の再締結を行った。なお、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の派遣は中止としたが、令和5年度に再開するための準備を行った。

(2) カナダサスカチュワン大学との学術交流

平成25年3月1日から10年間で締結された岩手大学とカナダサスカチュワン大学との大学間学術交流協定に基づき、岩手大学農学部とカナダサスカチュワン大学言語センターとの学生派遣に関する合意を平成26年2月20日から締結し、学生の派遣を開始した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の派遣は中止としたが、令和5年度にサマープログラムとしてサスカチュワン大学の学生を受入れるため、サスカチュワン大学の担当教員が岩手大学を訪問し、打ち合わせ及び情報収集を行った。

(3) ドイツロッテンブルク大学との学術交流

平成25年11月6日から10年間で締結された岩手大学農学部とドイツロッテンブルク大学との学術交流協定に基づき、学生の派遣を行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、学生の

派遣は中止としたが、オンラインでの情報交換を行った。

(5) 上海海洋大学との学术交流

令和4年度は、NPO法人国際食育交流協会主催、岩手大学と上海海洋大学共催のオンライン食育講座を4回行った。また、共同研究の情報交換等のためにオンラインセミナーを3回行った。

(6) 全南大学校との学术交流

令和4年度は、協定の再締結を行った。また、双方の交流担当者の交代に伴い、岩手大学から教員2名と事務職員1名が全南大学を訪問し、交流を行った。

(7) エチオピア農業研究所との学术交流

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、共同研究のため関係者との打ち合わせを4回オンラインで行った。

【研究助成】

(1) 共同研究

令和4年度における民間等との共同研究は25件行われ、岩手県内の企業等から6件であった。

(2) 受託研究

令和4年度には17件行われ、独立行政法人の研究機関から10件であった。

【副学部長及び附属施設長の交代等】

(1) 副学部長の就任

前任者の任期満了に伴い、澤井健教授が令和4年4月1日付けで就任した。

(2) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長の再任

由比進教授が任期満了に伴い、令和4年4月1日付けで再任された。

(3) 附属農業教育資料館長の就任

前任者の任期満了に伴い、塚本知玄教授が令和4年4月1日付けで就任した。

(4) 附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター長の就任

同センターの設置に伴い、寺嶋淳教授が令和4年6月1日付けで就任した。

【その他】

(1) 農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター御明神総合施設の改修

令和4年7月から令和5年3月まで、御明神総合施設の改修工事を行った。

(2) 農学部附属農業教育資料館特別公開及び土日祝日の公開

令和4年11月3日(木、祝日)の文化の日を記念して、農業教育資料館の特別公開(無料開館)が行われ、期間中多くの入館者が訪れた。また、令和4年4月30日(土)から令和4年11月3日(木)(全学一斉休業期間を除く。)まで、土日祝日も一般公開を行った。

(3) 授業公開と教育懇談会の開催

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、開催見送りとした。

(4) 進路懇談会の開催

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、開催見送りとした。

2. 年間主要行事

年月日	曜日	事 項
令和4年		
4. 7	木	入学式
4. 8	金	新入生オリエンテーション
5.26	木	いわてアグリフロンティアスクール開講式
6. 1	火	開学記念日
6.24	金	令和5年度岩手大学農学部（森林科学科，共同獣医学科を除く4学科）編入学試験
7. 1	金	岩手大学農学部創立120周年並びに北水会発足100周年記念式典・講演会・祝賀会 令和5年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻推薦入学試験
7. 2	土	公開講座「農学部5学科（植物生命科学科，応用生物化学科，森林科学科，食料生産環境学科，動物科学科）の実験講座」 公開講座「パピークラス@岩手大学」（7月30日を除く8月6日までの毎週土曜日）
7.27	水	公開講座「大学農場で体験する食と農と生物学」（滝沢農場）
8. 5	金	夏季休業（9月30日まで）
8. 8	月	オープンキャンパス
8.18	木	令和4年10月入学・令和5年4月入学第1期岩手大学大学院総合科学研究科入学試験（19日まで）
8.22	月	令和4年10月入学・令和5年4月入学第1期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
9. 1	木	令和4年10月入学・令和5年4月入学第1期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
9.16	金	令和4年9月岐阜大学大学院連合獣医学研究科学位記授与式
9.26	月	令和4年9月岩手大学卒業・修了式，連合農学研究科学位記伝達式
10. 3	月	令和4年10月入学式
10. 8	土	公開講座「パピークラス@岩手大学」（11月5日までの毎週土曜日）
10.15	土	岩手大学農学部創立120周年記念講演会
10.22	土	公開講座「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」（滝沢演習林）
11. 6	日	フィールドセミナー ～ウォッチングペンゴをしながら親子で楽しむ秋の森～（滝沢演習林）
11.22	火	令和5年度岩手大学学校推薦型選抜（共同獣医学科を除く5学科）
12.24	土	冬季休業（1月3日まで）
12.26	月	令和5年度岩手大学農学部総合型選抜（動物科学科を除く5学科）
令和5年		
1.14	土	大学入学共通テスト（15日まで）
1.24	火	令和5年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科第2期入学試験（25日まで）
1.26	木	令和5年4月入学第2期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
2. 2	木	令和5年4月入学第2期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
2. 6	月	いわてアグリフロンティアスクール修了式
2.18	土	公開講座「パピークラス@岩手大学」 （2月25日、3月11日を除く3月25日までの毎週土曜日）
2.20	月	附属動物医学食品安全教育研究センター成果発表会
2.25	土	令和5年度岩手大学一般選抜（前期日程）

年月日	曜日	事項
3. 7	火	附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター看板除幕式・設立記念シンポジウム
3.12	日	令和5年度岩手大学一般選抜（後期日程）
3.13	月	令和4年度岐阜大学大学院連合獣医学研究科学学位記授与式
3.15	水	公開講座「獣医学のすすめ」
3.23	木	令和4年度岩手大学学位記授与式，連合農学研究科学学位記伝達式
3.24	金	春季休業（31日まで）
3.26	日	フィールドセミナー「春をむかえる 森をみる」（滝沢演習林）

3 . 広報等活動状況

日 程	種 別	高 校 名	対 応 者
6月16日	大学見学	青森県立青森東高等学校	東 淳樹
6月30日	大学見学	岩手県立花巻北高等学校	松嶋 卯月
7月11日	大学見学	岩手県立種市高等学校	一條 俊浩
7月27日	大学見学	岩手県立宮古高等学校	斎藤 靖史
7月28日	大学見学	青森県立八戸北高等学校	西向 めぐみ
9月 8日	大学見学	岩手県立盛岡第四高等学校	松嶋 卯月
9月 9日	大学見学	岩手県立黒沢尻北高等学校	白旗 学
9月20日	大学見学	秋田県立湯沢高等学校	山田 慎二
9月21日	大学見学	岩手県立盛岡第二高等学校	川原田 泰之・関 まどか
9月29日	大学見学	秋田県立角館高等学校	山田 慎二
10月17日	大学見学	岩手県立久慈高等学校	川原田 泰之
10月20日	大学見学	岩手県立遠野高等学校	袁 春紅
10月24日	大学見学	岩手県立前沢高等学校	寺嶋 淳
5月31日	出前講義	岩手県立花巻北高等学校	佐藤 洋
6月22日	出前講義	青森県立三沢高等学校	村元 隆行
7月 8日	出前講義	新潟県新潟市立万代高等学校	由比 進
9月 8日	出前講義	青森県立弘前中央高等学校	佐藤 洋
9月13日	出前講義	青森県立三本木高等学校	小森 貞男
9月15日	出前講義	青森県立五所川原高等学校	松嶋 卯月
9月15日	出前講義	青森県立青森東高等学校	斎藤 靖史
10月13日	出前講義	愛知県立安城東高等学校	小田 伸一
10月13日	出前講義	盛岡中央高等学校	下野 裕之
10月13日	出前講義	岩手県立福岡高等学校	松波 麻耶
10月15日	出前講義	宮城県立泉館山高等学校	畠山 勝徳
10月18日	出前講義	宮城県立気仙沼高等学校	川原田 泰之
10月20日	出前講義	岩手県立盛岡第四高等学校	磯貝 雅道・國崎 貴嗣
10月25日	出前講義	岩手県立盛岡北高等学校	山田 美和
10月27日	出前講義	北海道函館中部高等学校	鈴木 雄二
10月27日	出前講義	青森県立青森高等学校	斎藤 靖史
10月28日	出前講義	市立札幌藻岩高等学校	小出 章二
2月1日	出前講義	秋田県立大館鳳鳴高等学校	小林 沙織

教員・スタッフ

1. 学部教員

(1) 植物生命科学科

教授

磯貝雅道	(Isogai, Masamichi)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
小森貞男	(Komori, Sadao)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐原健	(Sahara, Ken)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
下野裕之	(Shimono, Hiroyuki)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立澤文見	(Tatsuzawa, Fumi)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
畠山勝徳	(Hatakeyama, Katsunori)	2015年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
ラーマン アビドゥール (RAHMAN Abidur)		2006年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

准教授

川原田泰之	(Kawaharada, Yasuyuki)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
河村幸男	(Kawamura, Yukio)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
八重樫元	(Yaegashi, Hajime)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

講師

安嬰	(An, Ying)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
----	------------	---------	---

助教

松波麻耶	(Matsunami, Maya)	2017年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
------	-------------------	---------	---

(2) 応用生物化学科

教授

伊藤 菊一	(Ito, Kikukatsu)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
伊藤 芳明	(Ito, Yoshiaki)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木村 賢一	(Kimura, Ken-ichi)	2001年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
鈴木 雄二	(Suzuki, Yuji)	2017年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
塚本 知玄	(Tsukamoto, Chigen)	1999年赴任	researchmap
西山 賢一	(Nishijyama, Ken-ichi)	2010年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
三浦 靖	(Miura, Makoto)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮崎 雅雄	(Miyazaki, Masao)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山下 哲郎	(Yamashita, Tetsuro)	1994年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

准教授

斎藤 靖史	(Saitoh, Yasushi)	1999年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立石 貴浩	(Tateishi, Takahiro)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田 美和	(Yamada, Miwa)	2011年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(3) 森林科学科

教授

小藤田 久 義	(Kofujita, Hisayoshi)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関 野 登	(Sekino, Noboru)	1984 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
真 坂 一 彦	(Masaka, Kazuhiko)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

准教授

伊 藤 幸 男	(Ito, Sachio)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧
國 崎 貴 嗣	(Kunisaki, Takashi)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
齋 藤 仁 志	(Saito, Masashi)	2019 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 内 貴 義	(Yamauchi, Kiyoshi)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

講 師

東 淳 樹	(Azuma, Atsuki)	2000 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松 木 佐和子	(Matsuki, Sawako)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

助 教

山 崎 遥	(Yamazaki, Haruka)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
-------	--------------------	----------	---

(4) 食料生産環境学科

農村地域デザイン学コース

教授

飯田 俊 彰	(Iida, Toshiaki)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
金山 素 平	(Kanayama, Motohei)	2013 年赴任	researchmap
原科 幸 爾	(Harashina, Kouji)	2004 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
三宅 諭	(Miyake, Satoshi)	2002 年赴任	researchmap

准教授

濱上 邦 彦	(Hamagami, Kunihiko)	2011 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
武藤 由 子	(Muto, Yoshiko)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山本 清 仁	(Yamamoto, Kiyohito)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

食産業システム学コース

教授

小出 章 二	(Koide, Shoji)	1996 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
--------	----------------	----------	---

准教授

折笠 貴 寛	(Orikasa, Takahiro)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木下 幸 雄	(Kinoshita, Yukio)	2005 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
庄野 浩 資	(Shono, Hiroshi)	1991 年赴任	
前田 武 己	(Maeda, Takeki)	2001 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松嶋 卯 月	(Matsushima, Uzuki)	2005 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

水産システム学コース

教授

平井 俊 朗	(Hirai, Toshiaki)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
--------	-------------------	----------	---

准教授

石村 学 志	(Ishimura, Gakushi)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
--------	---------------------	----------	---

袁 春 紅 (YUAN, Chunhong) 2016 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

助 教

塚 越 英 晴 (Tsukagoshi, Hideharu) 2016 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(5) 動物科学科

教授

喜多一美	(Kita, Kazumi)	2006年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
澤井健	(Sawai, Ken)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
築城幹典	(Tsuiki, Mikinori)	1997年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
西向めぐみ	(Nishimukai, Megumi)	2013年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

准教授

小田伸一	(Oda, Shinichi)	1994年赴任	researchmap
出口善隆	(Deguchi, Yoshitaka)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村元隆行	(Muramoto, Takayuki)	2006年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(6) 共同獣医学科

教授

落合謙爾	(Ochiai, Kenji)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木崎景一郎	(Kizaki, Keiichiro)	2004年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐藤洋	(Satoh, Hiroshi)	2015年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高橋透	(Takahashi, Toru)	2013年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
寺嶋淳	(Terajima, Jun)	2017年赴任	researchmap
古市達哉	(Furuichi, Tatsuya)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村上賢二	(Murakami, Kenji)	2012年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山崎真大	(Yamasaki, Masahiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山本欣郎	(Yamamoto, Yoshio)	2002年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

准教授

一條俊浩	(Ichijo, Toshihiro)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧
大沼俊名	(Ishiguro-Oonuma, Toshina)	2016年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高橋正弘	(Takahashi, Masahiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
中牟田信明	(Nakamuta, Nobuaki)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮崎珠子	(Miyazaki, Tamako)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田慎二	(Yamada, Shinji)	2019年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山田美鈴	(Yamada, Misuzu)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧

助教

内田直宏	(Uchida, Naohiro)	2014年赴任	岩手大学研究者総覧
金澤朋美	(Kanazawa, Tomomi)	2021年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
小林沙織	(Kobayashi, Saori)	2009年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐々木淳	(Sasaki, Jun)	2007年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関まどか	(Ichikawa-Seki, Madoka)	2013年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

中 田 浩 平	(Nakata, Kohei)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧
前 原 都有子	(Maehara, Toko)	2022 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 崎 朗 子	(Yamazaki, Akiko)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

2. 附属施設教員

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

教授

山本 信次 (Yamamoto, Shinji) 1997年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

由比 進 (Yui, Susumu) 2016年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

准教授

平田 統一 (Hirata, Toh-ichi) 1992年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

助教

白旗 学 (Shirahata, Manabu) 1991年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

高田 乃倫予 (Takada, Noriyo) 2022年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

渡邊 学 (Watanabe, Manabu) 2003年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(2) 附属動物病院

教授

片山 泰章 (Katayama, Masaaki) 2005年赴任 [岩手大学研究者総覧](#)

准教授

星野 有希 (Hoshino, Yuki) 2017年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

助教

森田 智也 (Morita, Tomoya) 2020年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

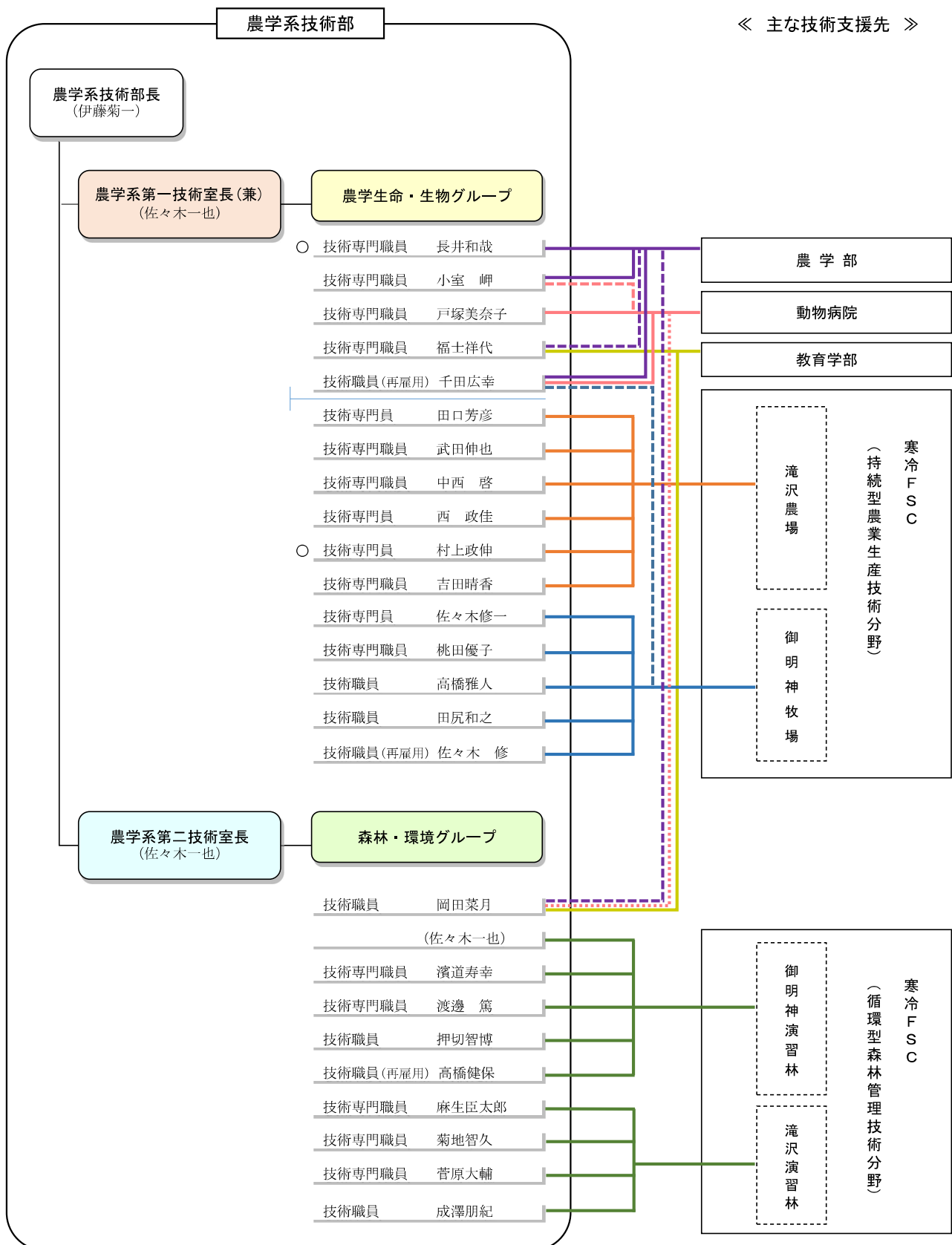
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

教授

佐藤 至 (Sato, Itaru) 1990年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

3 技 術 部

農学系技術部と主な技術支援先(R4年度)



※ 記載は、グループ別主な技術支援先別職位別五十音順。○はグループリーダー。

氏名	赴任・職位	専門分野	学位 / 資格・免許等
【農学系第一技術室】			
長井和哉 Nagai, Kazuya	2006年 技術専門職員	分子生物学 分子生態学	博士（農学）（岩手大学） 第一種衛生管理者
小室岬 Komuro, Misaki	2010年 技術専門職員	花卉園芸学	修士（農学）（山形大学）/ 第一種衛生管理者，毒物劇物取扱者 （一般）
戸塚美奈子 Tozuka, Minako	2007年 技術専門職員	臨床検査学	臨床検査技師，普通第一種圧力容器 取扱作業主任者技能講習修了
福士祥代 Fukushi, Sachiyo	2013年 技術専門職員	蔬菜・花卉 機器分析	修士（農学）（岩手大学）/ 第一種衛生管理者，毒劇物取扱者 （一般），フォークリフト
千田広幸 Chida, Hiroyuki	1979年 技術職員	飼料作物栽培学	大型自動車，けん引（農耕車）， ガス溶接，車輛系建設機械（整地 等），ボイラー技士（二級）
田口芳彦 Taguchi, Yoshihiko	1992年 技術専門員	作物栽培学	大型自動車，大型特殊自動車，フ ォークリフト，けん引，ボイラー 技士（二級），危険物乙種四類
武田伸也 Takeda, Sinya	1993年 技術専門職員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），日本農業技 術検定2級，フォークリフト
中西啓 Nakanisi, Akira	1992年 技術専門職員	花卉園芸学， 蔬菜園芸学	毒物劇物取扱者（農業用品目）， 大型特殊自動車，第二種衛生管理 者，日本農業技術検定2級，フォ ークリフト
西政佳 Nishi, Masayoshi	1992年 技術専門員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），けん引（農耕 車），フォークリフト，乾燥設備作 業主任者技能講習，刈払機取扱作業 者安全衛生教育終了
村上政伸 Murakami, masanobu	1997年 技術専門職員	果樹園芸学	大型自動車，大型特殊自動車，フォ ークリフト
吉田晴香 Yoshida, Haruka	2008年 技術専門職員	果樹園芸学	修士（農学）（岩手大学）/ 第一種衛生管理者，日本農業技術検 定2級，フォークリフト
佐々木修一 Sasaki, Shu-ichi	1991年赴任 技術専門員	飼養，繁殖	大型特殊自動車免許（農耕車），けん 引免許（農耕車），毒物劇物取扱

			者（農業用品目），家畜人工授精師（牛），家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了
桃田 優子 Momota, Yuko	2007年 技術専門職員	飼養，繁殖	修士（農学）（千葉大学）/ 家畜人工授精師（牛），大型特殊自動車
高橋 雅人 Takahashi, Masahito	2020年 技術職員	飼料作，機械	中型自動車免許，大型特殊自動車免許，ガス溶接技能講習，玉掛け技能講習
田尻 和之 Tajiri, Kazuyuki	2017年 技術職員	飼養・繁殖	中型自動車免許一種，大型特殊自動車免許一種，家畜人工授精師（牛），二級削蹄師，車輛系建設機械（整地・運搬・積込み用及び採掘用）
佐々木 修 Sasaki, Osamu	1994年 技術職員	飼料作，機械	大型、大型特殊、けん引自動車一種免許，（牛）家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植，二級ボイラー技士免許，車両系建設機械運転技能講習，ガス溶接技能講習
【農学系第二技術室】			
岡田 菜月 Okada, Natsuki	2012年 技術専門職員	木工，森林生態学， 森林環境教育学	修士（農学）（岩手大学）/ 第一種衛生管理者，2級ビオトープ計画管理士，森林インストラクター，木材加工用機械作業主任者技能講習
佐々木 一也 Sasaki, Kazuya	2004年 技術室長	林政学，森林管理学	博士（農学）（岩手大学）/ 測量士補，森林情報士（森林GIS 2級），第一種衛生管理者
濱道 寿幸 Hamamichi, Toshiyuki	1999年 技術専門職員	森林生態学，林業 機械	第一種衛生管理者，はい作業主任者，地山掘削作業主任者，ツリークライミングファシリテーター，狩猟免許（銃、罠）
渡邊 篤 Watanabe, Atsushi	2009年 技術専門職員	林業生産工学	第一種衛生管理者，修習技術者，測量士，森林インストラクター，中型自動車免許
押切 智博 Oshikiri, Tomohiro	2021年 技術職員	野生動物管理学	修士（農学）（岩手大学）/ 修習技術者，測量士補，第一種衛生管理者，学芸員

高橋 健保 Takahashi, Takeyasu	2004年 技術職員	森林管理学、森林 生産利用学	大型特殊自動車免許，車両系建設機 械(自重3t以上)，はい作業主任者， 不整地運搬車運転技能講習，玉掛け 技能講習
麻生 臣太郎 Aso, Shintaro	2008年 技術専門職員	林業生産工学	修士(農学)(岩手大学) / 大型特殊自動車免許，第一種衛生 管理者，危険物取扱者(乙種)， 測量士，修習技術者
菊地 智久 Kikuchi, Tomohisa	1997年 技術専門職員	森林管理学，樹木 学，樹木医学，森林 環境教育学	樹木医，森林インストラクター，第 1種衛生管理者
菅原 大輔 Sugawara, Daisuke	2012年 技術専門職員	森林管理学	修習技術者，測量士補，車両系建設 機械(自重3t以上)，はい作業主任 者，危険物取扱者(乙種)
成澤 朋紀 Narisawa, Tomoki	2021年 技術職員	森林リモートセン シング，森林 GIS	修士(農学)(東北大学) / 森林インストラクター，危険物取 扱者(乙種，第4類)，車両系建設 機械運転技能講習，不整地運搬車 運転技能講習，玉掛け技能講習

4 . 学会等の開催

植物生命科学科

第2回 Plant Microbiota Research Network (PMRN) シンポジウム

- ・開催日：令和4年8月22日(月)
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加人数：200名
- ・その他：共同開催担当者 川原田泰之(岩手大学助教)

植物微生物研究会第31回大会

- ・開催日：令和4年9月8日(木)～9日(金)
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加人数：60名
- ・その他：大会実行委員長 川原田泰之(岩手大学助教)

2022 International Mini Symposium on Plant-Microbe Interactions

- ・開催日：令和4年9月9日(金)
- ・場 所：オンライン開催
- ・参加人数：270名
- ・その他：委員長/企画/広報/座長 川原田泰之(岩手大学助教)

応用生物化学科

日本土壌肥料学会東北支部大会

- ・開催日：令和4年7月8日(金)
- ・場 所：山形テルサ(山形県山形市)
- ・参加人数：39名
- ・その他：事務局：立石貴浩(支部長, 岩手大学准教授), 鈴木雄二(幹事, 岩手大学教授)

第3回 細胞形成研究会 「ポストコロナの若手研究者育成」

- ・開催日：令和4年9月27日(火)～28日(水)
- ・場 所：八幡平ハイツ(岩手県八幡平市)
- ・参加人数：26名
- ・大会長：世話人 西山賢一(岩手大学教授)他

5. 研究助成

令和4年度科学研究費補助金採択状況一覧

(単位:円, 所属・職位は令和4年4月1日もしくは採用時現在)

研究種目	学科等	研究代表者氏名	職位	研究課題名	配分額
学術変革領域研究(A)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	社会実装を目指した汎用的セルフリー膜タンパク質合成システムの開発	3,700,000
基礎研究(B)	植物生命科学科	RAHMAN ABIDUR	准教授	低温ストレス応答の分子メカニズムを基盤とした低温耐性トマトの開発	3,500,000
基礎研究(B)	応用生物化学科	伊藤 菊一	教授	発熱植物ゼンソウの体温調節に関わる温度センシングモジュールの探索と同定	2,600,000
基礎研究(B)	応用生物化学科	鈴木 雄二	教授	炭酸固定からトリオースリン酸生成の増強による光合成と個体生育の窒素利用率の改良	2,600,000
基礎研究(B)	共同獣医学科	落合 謙爾	教授	神経病原性レトロウイルスがグリオーマを誘発する新しい分子機構の解明	2,700,000
基礎研究(B)	応用生物化学科	山田 美和	准教授	産業廃棄物を原料としたグリコール酸高分率ポリマー創製のための代謝工学戦略	2,300,000
基礎研究(B)	食料生産環境学科	原科 幸爾	准教授	多面的価値創出を意図した木質バイオマス利用のための空間的・時間的戦略の構築	5,900,000
基礎研究(B)	食料生産環境学科	木下 幸雄	准教授	土壌改良区の経営で実践可能な戦略的ナレッジマネジメント手法の提案	2,800,000
基礎研究(B)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	膜タンパク質のバイオジェネシスに関わる糖脂質 MPase の構造と機能に関する研究	6,100,000
基礎研究(B)	動物科学科	喜多 一美	理事	高血糖動物であるニワトリにおける血漿中アミノ酸アマドリ化合物濃度の制御機構	6,500,000
基礎研究(C)	植物生命科学科	小森 貞男	教授	リンゴゲノム編集技術実用化のための培養技術の開発	1,200,000
基礎研究(C)	食料生産環境学科	塚越 英晴	助教	MIG-seq法を用いた三陸岩手サケの河川遡上集団と沿岸海成集団の遺伝的解析	600,000
基礎研究(C)	食料生産環境学科	松嶋 卯月	准教授	植物の根は高濃度塩水基水栽培にどのように順化するのか?	900,000
基礎研究(C)	動物科学科	澤井 健	教授	ウシ体外受精胚の発育不全・組織分化異常に関わる因子の解明とその発現抑制	1,000,000
基礎研究(C)	農学部	板垣 匡	教授	ミツバチノゼマ病の新たな病原体 Nosema sp. の種と病原性、国内分布の解明	900,000
基礎研究(C)	動物科学科	西向 めぐみ	教授	慢性腎臓病における エーテル型リン脂質に着目した新規疾病マーカーの開発	1,100,000
基礎研究(C)	食料生産環境学科	前田 武己	准教授	バイオ炭の混合による家畜排泄物処理時の悪臭低減	400,000
基礎研究(C)	動物医学食品安全教育 研究センター	佐藤 至	教授	原発事故影響圏区域で飼育されている牛の健康状態ならびに食肉の安全性に関する評価	500,000
基礎研究(C)	応用生物化学科	木村 賢一	教授	琥珀内に包まれた9000万年間の化学反応生成物と生物活性の統合的解析	1,000,000
基礎研究(C)	応用生物化学科	伊藤 芳明	准教授	骨格筋の代謝機能および量的維持に対するイソチオシアネート化合物の作用機序解析	900,000
基礎研究(C)	応用生物化学科	三浦 靖	教授	呈味性と咀嚼・嚥下容易性を制御するための3次元造形手法の確立	1,000,000
基礎研究(C)	植物生命科学科	磯貝 雅道	准教授	植物ウイルスの種子伝染に対する植物の防御機構の解明	700,000
基礎研究(C)	森林科学科	斎藤 仁志	准教授	木材生産が可能な林分はどこにあるのか? 災害リスクを考慮した供給可能量の推定	1,000,000
基礎研究(C)	食料生産環境学科	小出 章二	教授	生鮮青果物の新たな過冷却保存法の確立・長期品質保持・環境負荷低減を目指して	800,000
基礎研究(C)	動物科学科	出口 善隆	准教授	多雪地帯におけるイノシシの土地適応性	1,000,000
基礎研究(C)	寒冷フィールドサイエンス 教育研究センター	平田 統一	准教授	アルギニン製剤の給与が定期胚移植後の受胎率に及ぼす影響	1,100,000
基礎研究(C)	共同獣医学科	山田 慎二	准教授	リキッドバイオプシー診断による地方病性牛白血病の発症予測技術の確立	1,000,000
基礎研究(C)	共同獣医学科	古市 達哉	教授	運動器疾患の克服に向けた糖ヌクレオチド代謝の基礎研究	1,100,000
基礎研究(C)	共同獣医学科	木崎 景一郎	教授	ウシ栄養細胞由来の環状RNAの同定と機能解析	1,300,000
基礎研究(C)	共同獣医学科	山本 欣郎	教授	頸動脈小体の感覚性長期増強反応および低酸素適応反応におけるシナプス可塑性の役割	600,000
基礎研究(C)	共同獣医学科	関 まどか	助教	世界初となる単為生殖型肝臓3倍体の分子学的識別法の開発	1,000,000

研究種目	学科等	研究代表者氏名	職位	研究課題名	配分額
基盤研究(C)	農学部	中牟田 祥子	特任研究員	ハイギョ嗅覚器における1型嗅覚受容体の発現解析	900,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	八重樫 元	准教授	チューリップモザイク病の分子機構と生物学的意義の解明	1,000,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス 教育研究センター	由比 進	教授	メンデル遺伝を手軽に体験できるミニトマト教材の開発	300,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	三宅 諭	教授	東日本大震災からの復興まちづくりの体系的評価から捉える事前復興の計画論	900,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	佐原 健	教授	モノソミーカイコ出現メカニズム解明と常染色体遺伝子量補正の検証	1,200,000
基盤研究(C)	森林科学科	小藤田 久義	教授	スギ樹皮に含まれる機能性抽出成分の総合的利用に関する研究	1,900,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	武藤 由子	准教授	作物生育と微生物活動に着目した水分移動過程における畑地土壌中の窒素動態	1,600,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	折笠 貴寛	准教授	減圧マイクロ波による低環境負荷型殺菌法の確立:品質と環境負荷の最適化を目指して	1,400,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	小林 沙織	助教	猫遺伝性多発性嚢胞腎の個体別重症度・進行度の差異のメカニズム解明	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐藤 洋	教授	ホルモン依存性腫瘍の系統差の特性解析と治療的の可能性検証に関する研究	1,300,000
基盤研究(C)	動物病院	片山 泰章	教授	慢性腎臓病に対する新規ナノ治療戦略の確立へ向けての前臨床研究	1,000,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	鈴木 雄二	准教授	方法的限界の打破から挑戦、かつてない多様な植物種からの優れた Rubisco の発掘	1,200,000
挑戦的研究(萌芽)	食料生産環境学科	石村 学志	准教授	日本独自の経済データと漁獲行動衛星データ解析の統合が可能にする全球水産資源可視化	2,800,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	細胞内タンパク質選別輸送・膜輸込に関わる真核生物由来の糖脂質の同定と構造機能解析	2,400,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	現代人はネコの脂質代謝を模倣して高コレステロール血症を克服できるか?	1,600,000
若手研究	共同獣医学科	山崎 朗子	助教	ニホンジカ寄生性肉胞子虫の下痢毒性因子の検出および毒性機序の解明	1,200,000
若手研究	動物病院	森田 智也	助教	超音波検査で犬の心腎連関を解明できるか:右心室機能と腎臓に注目した検討	600,000
若手研究	植物生命科学科	前原 都有子	助教	プロスタグランジンによる敗血症の病態制御機構の解明および診断・治療への応用	1,100,000
奨励研究	農学系技術部	吉田 晴香	技術専門職員	リンゴの摘果における効果的な指導方法の開発	230,000
奨励研究	農学系技術部	中西 啓	技術専門員	大学生の農場実習においてメンデル遺伝の基本を体験できるプログラムを構築する	320,000
ひらめき ときめき サイエンス	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	ネコのマタタビ反応に学ぶ動物の生存戦略を学ぼう	500,000
合 計					82,350,000

6 . 非常勤講師

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
科生植 学 科命物	金澤 俊成	園芸学	岩手大学教育学部	24
	吉川 信幸	生物制御学概論	岩手大学名誉教授	14
応用 生物 化学 科	木村 毅	有機化学概論	岩手大学研究支援・産学連携センター	28
	長澤 孝志	栄養化学・栄養学	岩手大学名誉教授	14
	小野田 敏行	公衆衛生学	岩手大学保健管理センター	14
	下飯 仁	産業微生物学	元岩手大学教授、(公財)日本醸造協会	28
	長澤 孝志	美味学	岩手大学名誉教授	14
森 林 学 科	佐藤 康	森林科学基礎演習	小岩井農場	3
	立川 史郎	森林測量学	岩手大学名誉教授	28
	立川 史郎	森林測量学実習	岩手大学名誉教授	42
	井良沢 道也	環境防災学	岩手大学名誉教授	28
	井倉 洋二	暖帯林概論	鹿児島大学農学部	28
	井良沢 道也	森林・雪水水文学	岩手大学名誉教授	28
	井良沢 道也	砂防学	岩手大学名誉教授	28
	山本 清龍	自然環境保全論	東京大学大学院農学生命科学研究科	28
	井良沢 道也	砂防学実習	岩手大学名誉教授	42
	立川 史郎	林業生産工学実習	岩手大学名誉教授	42
食 料 生 産 環 境 学 科	倉島 栄一	構造力学	岩手大学名誉教授	28
	倉島 栄一	構造力学演習	岩手大学名誉教授	28
	颯田 尚哉	水資源論	大同大学情報学部総合情報学科/工学部建築学科併任	28
	工藤 将英	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	工藤 浩一	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	山口 勝洋	緑地環境学	紫波グリーンエネルギー(株)	2
	及川 一輝	地域振興政策論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	28
	相川 次郎	海外農林開発論	国際協力機構	28
	溝口 勝	環境修復学	東京大学大学院農学生命科学研究科	12
	藤田 覚	農村地域デザイン学演習	東北農政局農村振興部	3
	伊藤 日南	農村地域デザイン実践論	農林水産省農村振興局整備部	4
	久野 叔彦	農村地域デザイン実践論	(株)三祐コンサルタンツ	4
	登尾 浩助	農村地域デザイン実践論	明治大学農学部	8
	平澤 莉穂	農村地域デザイン実践論	農林水産省経営局農地政策課	4
	武田 純一	応用数学	岩手大学名誉教授	10
	桶田 陽子	6次産業化論	農事組合法人宮守川上流生産組合	2
	成影 沙紀	6次産業化論	東北たべる通信	6
	三田 林太郎	6次産業化論	三田農林株式会社	2
	安江 紘幸	6次産業化論	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター生産基盤研究領域	2
	武田 純一	農作業システム学	岩手大学名誉教授	28
	武田 純一	農業動力利用学	岩手大学名誉教授	28
	及川 一也	フィールドロボティクス及び農作業安全	(株)クボタ アグリソリューション推進部	6
	片平 光彦	フィールドロボティクス及び農作業安全	山形大学農学部食料生命環境学科	2

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	菊池 豊	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター	14
	熊谷 悦史	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門	2
	清水 一考(特別分)	フィールドロボティクス及び農作業安全	(有)西部開発農産	2
	盛川 周祐	フィールドロボティクス及び農作業安全	(有)盛川農園	2
	山下 善道	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター農業放射線研究センター	2
	山本 聡史	フィールドロボティクス及び農作業安全	秋田県立大学生物資源科学部	2
	武田 純一	食産業システム学実験	岩手大学名誉教授	12
	清水野 茂利	食産業システム学実験	(株)トセキ東北販売促進部	3
	武田 純一	食産業システム学実験	岩手大学名誉教授	12
	大野 和彦	6次産業化論	海光物産(株)	2
	木村 拓哉	6次産業化論	(一社)東の食の会	4
	鈴木 允	6次産業化論	日本サステナブルシーフード協会	2
	銭本 慧	6次産業化論	合同会社フラットアワー	2
	今村 央	水産動物学	北海道大学大学院水産科学研究院	8
	梶原 昌五	水産動物学	岩手大学教育学部	4
	和田 哲	水産動物学	北海道大学大学院水産科学研究院	12
	難波 信由	水産植物学	北里大学海洋生命科学部	28
	金岩 稔	漁業資源生態学	三重大学生物資源学部	14
	野呂 恭成	漁業資源生態学	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所	8
	横川 太一	漁業資源生態学	海洋研究開発機構	4
	于 克鋒	水圏環境学	岩手大学水産研究センター客員研究員	28
	落合 芳博	水産食品加工学	東北大学大学院農学研究科	4
	神谷 慎一	水産食品加工学	トーアス(株)	2
	前多 隼人	水産食品加工学	弘前大学農学生命科学部食料資源学科	4
	渡部 終五	水産食品加工学	北里大学海洋生命科学部	4
	今野 久仁彦	水産食品化学	北海道大学名誉教授	4
	田中 教幸	水産食品化学	元岩手大学教授	8
	任 恵峰	水産食品化学	東京海洋大学海洋資源環境学部	2
	佐藤 繁	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	9
	中村 修	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	19
	赤木 徳顕	経営管理学入門	帝京大学経済学部経営学科	12
	稲垣 秀悦	経営管理学入門	いわぎん事業創造キャピタル(株)	2
	垣添 直也	経営管理学入門	日本水産(株)/マリン・エコラベル・ジャパン協議会	2
	鈴木 良太	経営管理学入門	チーム漁火	2
	阿部 拓三	自然環境論	南三陸町	8
	桜井 泰憲	自然環境論	函館頭足類科学研究所	4
	野村 一郎	環境経済学・資源経済学入門	インドネシア漁業省	2
	笠井 宗昭	水産物流・マーケティング論	知恵工房	2
	神谷 慎一	水産物流・マーケティング論	トーアス(株)	2
	高橋 剛一	水産物流・マーケティング論	岩手県すし業生活衛生同業組合	2
阿部 景太	水産制度論	武蔵大学経済学部	4	
一木 重夫	水産制度論	地域資源研究所	2	
太田 慎吾	水産制度論	(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構	4	

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	野呂 恭成	水産制度論	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所	2
	長谷 成人	水産制度論	(一財)東京水産振興会	4
	渡邊 一仁	水産制度論	宮城県水産林政部水産業基盤課	2
	山内 愛子	水産政策学	(株)シーフードレガシー	6
	森 晃也	コミュニケーション論	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)	6
	阿部 景太	漁業資源管理学	武蔵大学経済学部	6
	一木 重夫	漁業資源管理学	地域資源研究所	2
	太田 慎吾	漁業資源管理学	(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構	4
	野呂 恭成	漁業資源管理学	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所	4
	森 友彦	漁業資源管理学	岩手県水産技術センター	2
	渡邊 一仁	漁業資源管理学	宮城県水産林政部水産業基盤課	2
	末武 弘章	水産生命科学特別講義	福井県立大学	14
	深田 陽久	水産生命科学特別講義	高知大学	14
動物科学科	谷口 和美	動物形態学	元北里大学獣医学部准教授	28
	谷口 和美	動物形態学	元北里大学獣医学部准教授	28
	平松 浩二	動物組織学	信州大学農学部	14
	高橋 秀彰	動物遺伝育種学	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	28
	小松 守	動物園学	秋田市大森山動物園	14
	西 千秋	野生動物学	(合)岩手野生動物研究所	14
	水谷 啓司	動物科学実験Ⅱ	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	3
	中村 哲雄	牧場実習	葛巻町畜産開発公社	17
	佐野 宏明	動物栄養学	岩手大学名誉教授	28
共同獣医学科	山手 寛嗣	獣医倫理	松園動物病院	2
	下川 哲哉	解剖学実習	愛媛大学大学院医学系研究科	6
	福田 智一	獣医遺伝育種学	岩手大学理工学部	4
	古濱 和久	薬理学実習	元岩手大学教授	21
	秦 英司	病原微生物学	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所札幌研究拠点	2
	板垣 匡	原虫・原虫病学	岩手大学名誉教授	30
	板垣 匡	蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	岩手大学名誉教授	30
	豊田 武士	動物病理学総論	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター	4
	白岩 利恵子	公衆衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	渡辺 麻衣子	公衆衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	3
	古濱 和久	毒性学実習	元岩手大学教授	9
	辻本 恒徳	野生動物学	盛岡市動物公園	15
	白岩 利恵子	食品衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	高橋 孝嗣	食品衛生学実習	岩手県食肉衛生検査所	3
	渡辺 麻衣子	食品衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	6
	大田 寛	消化器病学	酪農学園大学獣医学群	4
	渡邊 一弘	消化器病学	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科	2
	伊丹 貴晴	麻酔学・手術学	酪農学園大学獣医学群獣医学類	12
	伊丹 貴晴	小動物外科学実習・基礎編	酪農学園大学獣医学群獣医学類	6
	大野 晃治	小動物内科学実習・応用編	(株)男鹿水族館 GAO	3
松原 ゆき	小動物内科学実習・応用編	(株)もりおかパークマネジメント	3	

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
共同獣医学科	岡田 啓司	小動物内科学実習・応用編	岩手大学名誉教授	6
	稲葉 睦	血液免疫病学	北海道大学大学院獣医学研究科	4
	宇塚 雄次	神経病・運動器病学	岩手大学名誉教授	16
	高木 哲	臨床腫瘍学	麻布大学獣医学部	12
	足立 眞也	総合参加型臨床実習	小岩井農牧(株)	21
	田高 恵	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	藤田 茂	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	大澤 健司	臨床繁殖学実習	宮崎大学農学部	6
	岡村 雄司	臨床繁殖学実習	おかむらアニマルクリニック	6
	菊地 和弘	臨床繁殖学実習	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門	6
	野口 倫子	臨床繁殖学実習	麻布大学獣医学部	6
	佐藤 繁	産業動物臨床学	岩手大学名誉教授	30
	岡田 啓司	産業動物臨床学	岩手大学名誉教授	22
	笠嶋 快周	産業動物臨床学	JRA 競走馬総合研究所	2
	笠嶋 快周	馬臨床学	JRA 競走馬総合研究所	16
	安田 出	大動物臨床実習・基礎編	安田動物病院	3
	鈴木 一由	大動物臨床実習・応用編	酪農学園大学獣医学群	6
	木村 祐哉	人と動物関係学	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部	10
	辻本 恒徳	人と動物関係学	盛岡動物公園	10
	松浦 晶央	人と動物関係学	北里大学獣医学部動物資源科学科	8
	岡田 啓司	動物品種論	岩手大学名誉教授	8
	佐藤 れえ子	動物品種論	岩手大学名誉教授	4
	辻本 恒徳	動物品種論	盛岡市動物公園	4
	朝倉 宏	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部	2
	板垣 匡	食品安全管理学	岩手大学名誉教授	2
	岡田 啓司	食品安全管理学	岩手大学名誉教授	2
	白岩 利恵子	食品安全管理学	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	2
	高橋 孝嗣	食品安全管理学	岩手県食肉衛生検査所	2
宮下 隆	食品安全管理学	キュービー(株)品質保証本部	2	
六鹿 元雄	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	2	
専門基礎科目・学部共通科目	奈良 光紀	基礎数学入門	岩手大学理工学部	28
	尾臺 喜孝	線形代数学入門	岩手大学理工学部	28
	花原 和之	微分積分学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学	岩手大学理工学部	28
	木村 毅	化学	岩手大学理工学部	28
	竹原 明秀	生物学入門	岩手大学人文社会科学部	6
	厚井 高志	地学入門	北海道大学広域複合災害研究センター	4
	越谷 信	地学入門	岩手大学理工学部	4
	苗村 康輔	地学入門	岩手大学教育学部	8
	柳澤 忠昭	地学入門	盛岡中央ゼミナール	4
	山本 英和	地学入門	岩手大学理工学部	4
	石垣 剛	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
	北爪 英一	基礎化学実験	岩手大学名誉教授	42
	竹原 明秀	基礎生物学実験	岩手大学人文社会科学部	9

学科	氏名	科目	勤務先	時間数
専門基礎科目・学部共通科目	ベンジャミン・ブレア	科学英語（植物）	フリーランス（英語）	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語（食料）	フリーランス（英語）	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語（動物）	フリーランス（英語）	28
	若生 和江	地域おこし論	惣菜弁当加工販売「やまんば工房」	2
	岡本 翔馬	地域おこし論	NPO 法人桜ライン 311	2
	高橋 静	地域おこし論	はちすずめ菓子店	2
	岩崎 昭子	地域おこし論	根浜 MIND/宝来館	2
	黍原 豊	地域おこし論	三陸駒舎	2
	高家 卓範	地域おこし論	森のそば屋	2
	藤原 朋	地域おこし論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	2
	若菜 千穂	地域おこし論	NPO 法人いわて地域づくり支援センター	2
	富川 岳	地域おこし論	(株)富川屋	2
	松本 篤英	地域おこし論	ピネムの森	2
	渡邊 和義	地域おこし論	オフィス SUGOROKU	2
望月 達也	地域おこし論	早池峰の自然を考える会	2	

大学院総合科学研究科農学専攻

専攻	氏名	科目	勤務先	時間数
植物生命 科学コース	西原 昌宏	植物バイオテクノロジー特論	(公財)岩手生物工学研究センター	28
	藤原 徹	植物生命科学特別講義	東京大学大学院農学生命科学研究科	14
応用生物 化学コース	沼田 圭司	応用生物化学特別講義	京都大学大学院工学研究科	14

大学院獣医学研究科

氏名	科目	勤務先	時間数
辻本 恒徳	動物と人の共存学	盛岡市動物公園	6
宮田 真智子	動物と人の共存学	岩手大学農学部附属動物病院	2

客員教授・客員准教授

施設等	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
教動物 育研医 研究学 セ食 ンタ 安全	五島 朋子 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センターの健康な家畜の生産と食の安全・安心に関する研究における、専門的立場からの助言	農林水産省消費安全局食品安全政策課	15
	室賀 紀彦 (客員教授)		農林水産省消費・安全局動物衛生課	15
	酒井 淳一 (客員教授)		(株)ポップアップクリエイト	15
	温泉川 肇彦 (客員教授)		国立保健医療科学院生活環境研究部	15
動物 病院	宮田 真智子 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物病院の犬と猫の問題行動に関する研究における、専門的立場からの指導・助言	岩手大学農学部附属動物病院	192
獣医 学 研 究 科	山本 健久 (客員教授)	岩手大学大学院獣医学研究科における、専門的立場からの指導・助言	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門	48

施設等	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
食料生産環境学科	武村 理雪 (客員教授)	米国 Pew 財団研究プロジェクトの研究推進と業務管理、Google の研究プロジェクト及び Global Fishing Watch の研究プロジェクトの研究推進のための専門的立場からの指導・助言	個人事業主	110
	馬場 真哉 (客員准教授)	米国 Pew 財団研究プロジェクトの研究推進と業務管理、Google の研究プロジェクト及び Global Fishing Watch の研究プロジェクトの研究推進のための専門的立場からの指導・助言	帝京大学	110
	阿部 景太 (客員准教授)	米国 Pew 財団研究プロジェクトの研究推進と業務管理、Google の研究プロジェクト及び Global Fishing Watch の研究プロジェクトの研究推進のための専門的立場からの指導・助言	武蔵大学経済学部	110

令和4年度各種委員会名簿（農学部）

令和4年6月1日以降

（ 印は委員長【室長】・議長、 印は副委員長【班長】 ）

委員会	学科等		植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学		共同獣医	寒冷ワールド	動物病院	動物センター	臨床・疾病制御センター	植物園	農業教育資料館	評議員	事務部等	任期等
	動物科学	共同獣医																
1	学部運営会議	小森	西山	真坂	飯田	築城	落合	由比	山崎(真)	寺嶋			木崎 小藤田 澤井	学部長 副学部長 事務長	2年 学部長・FSC長 R4.4.1～R6.3.31 病院長・FAMS長 R3.4.1～R5.3.31 学部長、副学部長、評議員2 学部長6、3施設から施設長各1、事務長 課程長3(1年 課程学生在籍の間)			
			西山			築城												
2	教員人事委員会	佐原、村上、山下													木崎 小藤田 澤井	学部長	2年 R3.4.1～R5.3.31 教授会において選出された教授3名	
3	教員評価委員会	x													木崎 小藤田 澤井	学部長	学部長指名の評議員 その他学部長指名	
4	企画室																	
	将来計画班	小藤田、小森、川原田、山田(和)、金山、西向、山崎(真)																
	財務班	木崎、ラーマン、斎藤(靖)、三宅、渡邊																
	特命班	(必要な時に設置)																
5	点検評価委員会	松波	宮崎(雅)	國崎	石村	澤井	木崎	高田								木崎		2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代) 評議員(全学点検評価委員会委員) 各学科各1、3施設1、その他学部長指名
6	教務委員会	磯貝 佐原	伊藤(芳) 山田(和)	関野	金山 小出 平井	出口	高橋(正) 古市									木崎 小藤田 澤井	副学部長	2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代) 副学部長、食料生産環境各コース及び 森林科学及び動物科学各1、他3学科各2
7	学生支援委員会	立澤	立石	松木	濱上	小田	佐藤 (洋) ～R5.3.31											2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代)
8	入試委員会	畠山	宮崎(雅)	山内	武藤 塚越	西向	片山 大沼											2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代) 食料生産環境(農村コースか食産業コースか ら1、水産コースから1)及び共同獣医から各 2、他4学科から各1
9	施設委員会	河村	宮崎(雅)	伊藤(幸)	三宅	村元	高橋(透)	星野	平田	大沼	八重樫					澤井		2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代) 評議員1、各学科各1、4施設各1
10	国際交流委員会	ラーマン ～R7.3.31	鈴木 ～R6.3.31	真坂 ～R6.3.31	原科 ～R5.3.31	小田 ～R7.3.31	寺嶋 ～R5.3.31											3年 R2(R4).4.1～R5(R7).3.31(3分の1交代) 各学科から各1
11	広報委員会	川原田	斎藤(靖)	東	原科 松嶋 袁	西向	寺嶋 関	一條	白旗	山田(慎)						木崎		2年 R3(R4).4.1～R5(R6).3.31(半数交代) 評議員1、共同獣医学科から2、食料生産 環境各コース及び他4学科から各1、 3施設から各1
12	農学系技術部 運営委員会	松波	三浦	山崎(遥)	前田	出口	内田	山崎(真)	山本(信)	山崎(真)						技術部長 技術室長 事務長	2年 R4.4.1～R6.3.31 各学科から各1、2施設から各1 (教授又は准教授) 農学系技術部長、 技術室長、事務長、技術室企画運営委員	
13	教育研究園場 運営委員会	下野	立石	山崎(遥)	石村	出口	金澤	宮崎(珠)	渡邊	佐々木								2年 R4.4.1～R6.3.31 各学科から各1、3施設から各1
14	寒冷フイールド サイエンス教育研究 センター運営委員会	佐原	立石	伊藤(幸)	山本(清)	出口	山田(鈴)	山崎(真)	由比 山本(信) 平田 白旗 渡邊 高田	山崎(朗)						事務長	2年 R4.4.1～R6.3.31 センター長、次長、専任教員 各学科から各1、2施設から各1 農学系技術部(農学系第一技術室及び 農学系第二技術室)から各1	
15	動物病院運営協議会	安	伊藤(芳)	東	塚越	村元	落合 佐藤(洋) 片山 高橋(透)	山崎(真) 片山 星野 森田								病院事務 職員		2年 R4.4.1～R6.3.31 病院長、各学科(共同獣医を除く)から 各1、共同獣医学科2、診療主任2、 病院専任教員、病院事務職員

委員会	学科等	植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学	共同獣医	寒冷ワールド	動物病院	動物センター	臨床・疾病制御センター	植物園	農業教育資料館	評議員	事務部等	任期等
16	動物医学食品安全教育研究センター運営委員会	ラーマン	伊藤(芳)	東	小出	澤井	×	山崎(真)		寺嶋						2年 R4.4.1~R6.3.31 センター長、副センター長、各学科から教授又は准教授を各1(センター長、副センター長、部門長の所属学科を除く)、 2施設いずれかから教授又は准教授1、センター専任教員、その他センター長指名
17	産業動物臨床・疾病制御教育研究センター運営委員会	小森	山下	國崎	濱上	澤井	×	山崎(真)		寺嶋						2年 R4.6.1~R6.3.31 センター長、副センター長、各学科から教授又は准教授を各1(センター長、副センター長、部門長の所属学科を除く)、 2施設いずれかから教授又は准教授1、センター専任教員、その他センター長指名
18	植物園運営委員会	八重樫	立石	國崎	袁	澤井	佐々木					真坂				2年 R4.4.1~R6.3.31 植物園長、各学科から各1
19	農業教育資料館運営委員会	河村	山田(和)	斎藤(仁)	武藤	澤井	小林					塚本				2年 R4.4.1~R6.3.31 館長、副館長、各学科から各1
20	自然エネルギー利用温室運営委員会	下野	鈴木	東	濱上	村元	中田									2年 R4.4.1~R6.3.31 各学科から各1
21	生物環境制御装置室運営委員会	畠山	鈴木	伊藤(幸)	庄野	村元	前原									2年 R4.4.1~R6.3.31 各学科から各1
22	環境管理委員会	安	斎藤(靖)	斎藤(仁)	前田	出口	山崎(朗)	山本(信)	森田					小藤田		2年 R4.4.1~R6.3.31 各学科から各1、2施設から各1、 その他学部長指名

(総合科学研究科農学専攻)

委員会	コース等	植物生命科学	応用生物化学	動物科学	事務部等	任期等
23	農学専攻運営委員会	小森	西山	築城	専攻長 副専攻長 事務長	2年 R4.4.1~R6.3.31 専攻長(伊藤菊)、副専攻長(三浦)、コース長3
24	農学専攻学務委員会	磯貝	齋藤	村元	副専攻長	2年 R3.4.1~R5.3.31 副専攻長、各コースから各1

学 生

1. 入試

(1) 令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等

学科・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名	個別学力検査実施教科・科目名等
植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース 水産システム学コース 動物科学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【(数,数・数Aから1)と(数,数・数B,簿,情報から1)】	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物) [1教科1科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物,地学から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	面接
共同獣医学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【数・数Aと(数・数B,簿,情報から1)】	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物から1) [2教科2科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	面接

(2) 令和5年度大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース	大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点						合計			
		国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小計	数学 数・数A・数B	理科			面接	大学入学 希望 理由書		小計		
					数学	数学					物理基礎	化学基礎	生物基礎						
前期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
		水産 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)		20	420	1,320	
後期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
		水産 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000	

備考：表中の()は、選択科目であることを表す。

(3) 令和5年度入学者選抜状況

大学入学共通テスト 令和5年1月14日～令和5年1月15日

総合型 出願期間 令和4年12月2日～令和4年12月7日
 個別学力検査 令和4年12月26日
 合格発表 令和5年2月9日

一般選抜（前期日程・後期日程） 出願期間 令和5年1月23日～令和5年2月3日

前期日程 個別学力検査 令和5年2月25日
 合格発表 令和5年3月6日
 後期日程 個別学力検査 令和5年3月12日
 合格発表 令和5年3月20日

学科名		区分	募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科	前期		26	56	32	31
	後期		4	23	4	3
	学校推薦型		5	8	5	5
	総合型		5	7	5	5
	私費外国人	若干名		0	0	0
応用生物化学科	前期		32	35	28	26
	後期		3	25	7	7
	学校推薦型		3	13	5	5
	総合型		2	8	2	2
	私費外国人	若干名		1	1	1
森林科学科	前期		16	35	18	17
	後期		3	23	4	4
	学校推薦型		6	9	7	7
	総合型		5	5	3	3
	私費外国人	若干名		0	0	0
食料生産環境学科	農村地域デザイン学 コース 食産業システム学 コース	前期	26	41	35	35
		後期	4	11	2	0
		学校推薦型	6	7	5	5
		総合型	4	3	1	1
		私費外国人	若干名	0	0	0
	水産システム学コース	前期	10	24	13	12
		後期	3	14	3	2
		学校推薦型	5	7	5	5
		総合型	2	1	1	1
		私費外国人	若干名	0	0	0
動物科学科	前期	20	38	23	21	
	後期	3	19	3	1	
	学校推薦型	7	17	8	8	
	総合型	-	-	-	-	
	私費外国人	若干名	1	1	1	
共同獣医学科	前期	20	95	23	22	
	後期	-	-	-	-	
	学校推薦型	-	-	-	-	
	総合型 （一般枠）	8	55	10	10	

	総合型 (地域枠)	2	1	1	1
	私費外国人	若干名	1	0	0
計	前期	150	324	172	164
	後期	20	115	23	17
	学校推薦型	32	61	35	35
	総合型	28	80	23	23
	私費外国人	若干名	3	2	2
合計		230	583	255	241

(4) 令和5年度学校推薦型選抜状況

選考方法 小論文，面接，推薦書，調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和4年11月1日～令和4年11月7日

選考試験 令和4年11月22日 小論文及び面接

合格発表 令和4年12月1日

学 科 名		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		5	8	5	5
応用生物化学科		3	13	5	5
森 林 科 学 科		6	9	7	7
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	6	7	5	5
	食産業システム学コース				
	水産システム学コース	5	7	5	5
動 物 科 学 科		7	17	8	8

(5) 令和5年度植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況

選考方法 調査書，小論文及び面接（口頭試問を含む）

出願期間 令和4年5月30日～令和4年6月1日

選考試験 令和4年6月24日 小論文及び面接

合格発表 令和4年7月15日

学科・コース		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		1	2	0	0
応用生物化学科		1	5	2	2
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	2	1	1	1
	食産業システム学コース		1	0	0
	水産システム学コース		1	0	0
動 物 科 学 科		1	1	0	0

(6) 令和4年10月入学及び令和5年4月入学大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況

ア 日程

推薦入試

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
4.6.6～4.6.8	4.7.1	4.7.11

令和4年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
4.7.12~4.7.14	4.8.18~4.8.19	4.9.2

令和5年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	4.7.12~4.7.14	4.8.18~4.8.19	4.9.2
第2期	4.11.30~4.12.2	5.1.24~5.1.25	5.2.8

イ 志願者・合格者・入学者

推薦入試

専攻・コース名	募集人員	志願者	合格者	入学者
地域創生専攻 地域産業コース		8	8	7
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0
合 計		8	8	7

令和4年10月入学

専攻名	募集人員	志 願 者			合格者	入学者
		一 般 入 試	社 会 人 入 試	外 国 人 留 学 生 入 試		
農学専攻 植物生命科学コース	若干名	0	0	0	0	0
農学専攻 応用生物化学コース		0	0	0	0	0
農学専攻 動物科学コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域産業コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0

令和5年4月入学

専攻・コース名	募集人員	第1期募集				第2期募集				入学者
		志願者			合格者	志願者			合格者	
		一般入試	社会人入試	外国人留学生特別入試		一般入試	社会人入試	外国人留学生特別入試		
農学専攻 植物生命科学コース	50	10	0	0	9	2	0	1	2	8
農学専攻 応用生物化学コース		22	0	0	21	1	0	0	1	22
農学専攻 動物科学コース		8	0	0	7	1	0	0	0	7
地域創生専攻 地域産業コース	-	10	0	0	9	2	0	0	2	10
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	-	50	0	0	46	6	0	1	5	47

(7) 令和4年10月入学及び令和5年4月入学大学院獣医学研究科(博士課程)選抜状況

ア 日程

令和4年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
4. 7.13 ~ 4. 7.15	4. 8.22	4. 9. 2

令和5年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	4. 7.13 ~ 4. 7.15	4. 8.22	4. 9. 2
第2期	4.11.30 ~ 4.12. 2	5. 1.26	5. 2. 8

イ 志願者・合格者・入学者

令和4年10月入学

専攻	募集人員	志願者		合格者	入学者
		一般入試	外国人留学生特別入試		
共同獣医学専攻	若干名	3	0	3	3

令和5年4月入学

専攻	募集人員	第1期募集			第2期募集			入学者
		志願者		合格者	志願者		合格者	
		一般入試	外国人留学生特別入試		一般入試	外国人留学生特別入試		
共同獣医学専攻	5	1	0	1	2	0	2	3

2. カリキュラム

(1) 植物生命科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	物理学		2	
	化学入門		2	
	化学		2	
	生物学入門		2	
	生物学		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語		2		
科学文献読解法			2	
海外特別実習			1	
卒業研究		6		
専門重点科目	農学概論	2		
	作物栽培学	2		
	食用作物学	2		
	食用作物学		2	
	園芸学	2		
	園芸学	2		
	園芸学		2	
	基礎遺伝学	2		
	植物育種学	2		
	植物育種学	2		
	遺伝育種学		2	
	環境植物生理学		2	
	General Plant Biology	2		
	植物生理学	2		
	植物病理学	2		
	植物病理学	2		
	植物ウイルス学		2	
	応用昆虫学	2		
	応用昆虫学	2		
	昆虫生理学		2	
	農業経済学	2		
	食料・農業政策論		2	
	農業経営学		2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	植物生命科学実験	1	
	植物生命科学実験	1	
	植物生命科学実験	1	
	植物生命科学実験	1	
	農学のための倫理		1
	植物生命科学と倫理	1	
	農業時事演習		1
	植物生命科学演習	1	
	植物生命科学演習	1	
	フィールド管理学		2
	農場実習	1	
	農場実習		1
	農場特別実習		1
専門展開科目	生化学	2	
	生化学		2
	分子生物学	2	
	分子生物学		2
	基礎分析化学	2	
	基礎分析化学		2
	農業気象・環境学	2	
	有機化学概論	2	
	植物ストレス応答学	2	
	微生物学概論	2	
生鮮食品保存科学	2		
必要修得単位数		53	38
合計必要修得単位数		91	

(2) 応用生物化学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	物理学入門		2
	基礎物理学実験		1
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	基礎生物学実験		1
	生物学		2
	地学入門		2
	基礎化学実験	1	
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	有機化学概論	2	
	生化学	2	
	基礎分析化学	2	
	生化学	2	
	土壌資源利用論	2	
	食品化学・食品学	2	
	食品化学工学	2	
	天然物化学	2	
	微生物学概論	2	
	栄養化学・栄養学	2	
	分子生物学	2	
	植物栄養生理学	2	
	農学のための倫理		1
	ケミカルバイオロジー	2	
	微生物生理学	2	
	植物栄養学・肥料学	2	
	食品衛生学	2	
	生化学		2
	食品加工物理化学		2
	遺伝子工学		2
	分子生物学		2
	公衆衛生学		1
	機器分析化学	2	
	産業微生物学		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	美味学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	食品保蔵学		2
	食品機能学		2
	細胞生物学		2
	植物ストレス応答学		2
	応用生物化学プレゼンテーション演習	1	
	応用生物化学演習	1	
	応用生物化学演習	1	
	応用生物化学実験	3	
応用生物化学実験	5		
専門展開科目	植物生理学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	林産化学		2
	作物栽培学		2
	食用作物学		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	農業経済学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	動物資源利用学		2
	動物資源利用学		1
	水産微生物学		2
	水産食品加工学		2
水産食品化学		2	
生命情報学		2	
医薬科学		2	
必要修得単位数		57	34
合計必要修得単位数		91	

(3) 森林科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学	2	
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			4
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ	1	
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
卒業研究	6		
専門重点科目	森林科学入門	2	
	森林科学基礎演習	1	
	木材と住宅	2	
	森林計測学	2	
	林業・木材産業論	2	
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	2	
	環境防災学		2
	樹木学	2	
	樹木学実習	1	
	暖帯林概論		1
	森林科学研修	1	
	技術者倫理入門	2	
	林産化学	2	
	森林・雪氷水文学		2
	山村経済・地域おこし論		2
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	2	
	森林利用学	2	
	地域生態系保全論		2
	野生動物管理学	2	
	森林保全生態学		2
	森林バイオマスの成分利用		2
	森林化学演習		1
	砂防学	2	
	森林利用学実習	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	海外・日本の林業	2	
	森林政策学	2	
	森林造成学	2	
	森林造成学実習	2	
	森林計測学実習	1	
	自然環境保全論		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	野生動物管理学実習		1
	環境と樹木の生理		2
	森林保護学		2
	森林科学応用演習	1	
	砂防学実習	1	
	森林計画学		2
	データ分析演習		1
森林科学応用演習	1		
公開森林実習		1	
専門展開科目	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	植物病理学		2
	植物病理学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	生化学		2
	微生物学概論		2
	分子生物学		2
	機器分析化学		2
	応用力学		2
	応用数学		2
	構造力学		2
	水理学		2
	緑地環境学		2
	施設開発管理学		2
	地域景観保全論		2
フィールドロボティクス及び農作業安全		2	
必要修得単位数		59	32
合計必要修得単位数		91	

(4) - 1 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	構造力学	2	
	構造力学演習		1
	土質力学	2	
	土質力学演習		1
	測量学	2	
	測量学基礎実習	1	
	測量学フィールド実習	1	
	地理情報処理学	2	
	地理情報処理演習		1
	スマート農業概論	2	
	水理学	2	
	水資源論	2	
	水理学実験演習		1
	土壌物理学	2	
	施設開発管理学	2	
	水文・水利学	2	
	農地工学	2	
	土壌・土質実験		1
	材料実験		1
	地域デザイン論	2	
環境防災学		2	
農村計画学	2		

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	緑地環境学		2
	地域生態系保全論		2
	地域景観保全論	2	
	地域振興政策論		2
	海外農林開発論		2
	環境修復学		2
	農村地域デザイン学演習	1	
	農村地域デザイン実践論	2	
農村地域デザイン学セミナー		1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	農業経済学		2
	農業気象・環境学		2
	栽培施設学		2
	食料・農業政策論		2
	農業動力利用学		2
	土壌資源利用論		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	栽培施設学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	基礎分析化学		2
	機器分析化学		2
	食品化学工学		2
	食品加工物理化学		2
	木材と住宅		2
	野生動物管理学		2
	砂防学		2
農業循環工学		2	
NPO・環境ガバナンス論		2	
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(4) - 2 食料生産環境学科 食産業デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	栽培施設学	2	
	農業気象・環境学	2	
	栽培施設学		2
	スマート農業概論		2
	農作業システム学	2	
	農業動力利用学	2	
	フィールドロボティクス及び農作業安全		2
	農業循環工学	2	
	機械と施設的设计	2	
	ものづくり実習	1	
	ポストハーベスト工学	2	
	熱工学	2	
	農産食品プロセス工学	2	
	生鮮食品保存科学	2	
	農業経済学	2	
	農業経営学		2
	食料・農業政策論	2	
	農業時事演習	1	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学演習	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	農場実習	1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	基礎遺伝学		2
	フィールド管理学		2
	食用作物学		2
	園芸学		2
	園芸学		2
	園芸学		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	農場実習		1
	農場特別実習		1
	制御工学		2
	ロボティクス工学		2
	土質力学		2
	地域生態系保全論		2
	地理情報処理学		2
	水資源論		2
	水理学		2
	土壌物理学		2
	農地工学		2
	農村計画学		2
	土壌資源利用論		2
植物栄養学・肥料学		2	
食品化学工学		2	
食品化学・食品学		2	
微生物学概論		2	
食品機能学		2	
食品保蔵学		2	
美味学		2	
食品衛生学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		51	40
合計必要修得単位数		91	

(4) - 3 食料生産環境学科 水産システム学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学		2
	応用力学		2
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	水産科学入門	2	
	水産増殖学	2	
	水産動物学	2	
	水産植物学	2	
	水族ゲノム生物学		2
	水族生理学	2	
	漁業資源生態学	2	
	水圏環境学		2
	数理漁業資源学	2	
	水産食品加工学	2	
	水産食品化学		2
	水産微生物学		2
	ミクロ経済学入門	2	
	経営管理学入門	2	
	地域振興経済・政策論	2	
	自然環境論		2
	環境経済学・資源経済学入門	2	
	水産物流・マーケティング論	2	
	水産制度学	2	
	水産政策学	2	
	コミュニケーション論	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	水産生物学実験	1	
	分析化学実験	1	
	海洋実習	1	
	海洋実習	1	
	漁村調査実習	1	
	漁具漁法概論		2
	漁業資源管理学		2
	水産生命科学特別講義		2
	水産システム学演習	1	
水産システム学演習	1		
専門展開科目	基礎遺伝学		2
	熱工学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	地域デザイン論		2
	地域生態系保全論		2
	遺伝子工学		2
	基礎分析化学		2
	細胞生物学		2
	食品衛生学		2
	食品化学・食品学		2
	食品機能学		2
	食品加工物理化学		2
	公衆衛生学		1
	生化学		2
	食品化学工学		2
	食品保蔵学		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	動物組織学		1
	動物発生学		1
ロボティクス工学		2	
制御工学		2	
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(5) 動物科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	化学入門		2	
	生物学入門		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
	物理学		2	
	化学		2	
	生物学		2	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
インターンシップ			1	
科学英語			2	
科学文献読解法			2	
海外特別実習			1	
卒業研究		6		
専門重点科目	動物科学総論	2		
	実験動物学概論	1		
	動物生理学	2		
	動物生理学	2		
	動物形態学	2		
	動物形態学	2		
	動物組織学	1		
	動物遺伝育種学	2		
	動物発生学	1		
	動物生殖学	2		
	動物生殖学各論	1		
	家畜生殖技術論	1		
	動物栄養学	2		
	飼料機能学	2		
	家畜飼養学	2		
	愛玩動物栄養学		1	
	草地学	2		
	動物管理学	2		
	動物行動学	2		
	動物園学		1	
	野生動物学		1	
	動物資源利用学	2		
	動物資源利用学		1	
	農学のための倫理		1	
動物科学実験	3			
動物科学実験	3			

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	牧場実習	1	
専門展開科目	農業経営学		2
	食品化学工学		2
	応用昆虫学		2
	食品化学・食品学		2
	生化学		2
	生化学		2
	野生動物管理学		2
	分子生物学		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	食品保蔵学		2
	地域生態系保全論		2
	基礎遺伝学		2
	微生物学概論		2
	植物栄養学・肥料学		2
	有機化学概論		2
	植物生理学		2
	天然物化学		2
	美味学		2
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		49	42
合計必要修得単位数		91	

(6) 共同獣医学科

区分1	区分2	授業科目	単位数		
			必修	選択	
基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	2		
		獣医倫理	2		
		獣医事法規	1		
		運動器・神経系解剖学	2		
		内臓・脈管系解剖学	2		
		解剖学実習	3		
		組織学	2		
		組織学実習	1		
		発生学	1		
		統合生理学	2		
		器官制御生理学	2		
		内分泌学	2		
		生理学実習	1		
		獣医遺伝育種学	1		
		動物行動学	2		
		実験動物学	2		
		実験動物学実習	1		
		基礎放射線学	2		
		獣医基礎生化学	2		
		獣医代謝生化学	2		
	生化学実習	1			
	基礎薬理学	2			
	統合薬理学	2			
	薬理学実習	1			
	小計		41		
	基礎獣医学科目	病態獣医学科目群	微生物学総論	2	
			病原微生物学	2	
			微生物学実習	1	
			微生物学実習	1	
			免疫学	2	
			原虫・原虫病学	2	
			蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	2	
			寄生虫学実習	1	
			動物感染症学	3	
			家禽疾病学	2	
			魚病学	2	
			動物病理学総論	2	
			動物病理学各論A(主要臓器)	2	
			動物病理学各論B(他臓器・組織)	2	
			病理学実習	1	
	病理学実習	1			
小計		28			
基礎獣医学科目	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	1		
		疫学	2		
		人獣共通感染症学	2		
		環境衛生学	2		
		公衆衛生学実習	1		
		毒性学	2		
		毒性学実習	1		
		動物衛生学	2		
		動物衛生学実習	1		
		野生動物学	1		
		食品衛生学(獣医)	2		
食品衛生学実習	1				
公衆衛生実践実習	1				
小計		19			

区分1	区分2	授業科目	単位数	
			必修	選択
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	1	
		呼吸器病・循環器病学	2	
		消化器病学	2	
		外科学総論	1	
		麻酔学・手術学	1	
		軟部外科学	1	
		小動物内科学実習・基礎編	1	
		小動物内科学実習・応用編	1	
		小動物外科学実習・基礎編	1	
		小動物外科学実習・応用編	1	
		内分泌病・皮膚病学	2	
		代謝病・中毒学	1	
		血液免疫病学	1	
		神経病・運動器病学	2	
		泌尿器病・生殖器病学	2	
		臨床病理学	2	
		臨床薬理学	1	
		臨床腫瘍学	2	
		臨床栄養学	1	
		画像診断学	2	
	画像診断実習	1		
	眼科学	1		
	動物行動治療学	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	小計		35	
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2	
		臨床繁殖学	2	
		繁殖機能制御学実習	1	
		臨床繁殖学実習	1	
		産業動物臨床学	2	
		産業動物臨床学	2	
		馬臨床学	1	
大動物臨床実習・基礎編		1		
大動物臨床実習・応用編		1		
総合参加型臨床実習		1		
総合参加型臨床実習	1			
小計		15		
選択科目	インターンシップ(獣医)		1	
	海外実習		1	
	人と動物関係学		2	
	動物品種論		2	
	食品安全管理学		2	
	動物園動物学		2	
	国際感染症制御学		2	
	動物病院経営学		2	
小計			6	
専修科目	獣医学演習		4	
	卒業研究		10	
小計			14	
計			152	
合計			158	

3. 学部学生

(1) 入学年度別在籍者数

令和4年4月1日現在

入学年度 学科・課程	定員			令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度			平成30年度		
	入学	編入	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	40	1	162	27	16	43	22	18	40	24	15	39	18	22	40	2	2	4
応用生物化学科	40	1	162	15	25	40	20	18	38	18	24	42	11	30	41	4	1	5
森林科学科	30	-	120	20	15	35	16	13	29	16	17	33	18	13	31	3	1	4
食料生産環境学科	60	2	244	39	26	65	33	26	59	37	25	62	40	26	66	3	2	5
動物科学科	30	1	122	8	24	32	7	20	27	10	22	32	10	22	32	-	1	1
共同獣医学科	30	-	180	15	18	33	18	15	33	17	15	32	12	22	34	16	16	32
応用生物化学課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
動物科学課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	230	5	990	124	124	248	116	110	226	122	119	241	109	135	244	28	23	51

入学年度 学科・課程	平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度			平成25年度			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	73	168
応用生物化学科	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	99	168
森林科学科	3	-	3	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	59	138
食料生産環境学科	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	152	107	259
動物科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	89	124
共同獣医学科	18	15	33	-	2	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2	102	98	200
応用生物化学課程	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
動物科学課程	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1
計	24	16	40	3	3	6	1	1	2	-	-	-	2	-	2	529	531	1060

(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講学生受入状況

令和4年4月1日現在

区分	研究生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
学部	0	0	0	0
大学院	4	0	0	4
計	4	0	0	4

(3) 卒業生数

学科・課程	令和4年度	備考
植物生命科学科	40	
応用生物化学科	40	
森林科学科	36	
食料生産環境学科	63	
動物科学科	29	
共同獣医学科	32	
応用生物化学課程	1	
動物科学課程	0	
計	241	

(4) 卒業生の進路状況 (令和4年度)

	卒業生数	卒業後の状況						就職者の産業別内訳																	就職先												
		進学等			就職			業 別																													
		大学院	研究生・聴講生等	その他(各種学校等)	就職希望者	就職者	その他	農業・林業	漁業	鉱業・採石業	建設業	食料品・飲料・たばこ	繊維・衣服	印刷・同関連業	化学・石油	鉄鋼・非鉄・金属製品	汎用・生産用・業務機械	電子部品・デバイス	電気・情報通信機器	輸送用機器製造業	その他の製造業	電気・ガス・水道	情報通信業	運輸・郵便業		卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸	学術・研究・専門技術	教育・学習支援	医療・福祉	サービス業	公務	岩手県内就職者	県外就職者		
農	植物生命科学科	男	17	7	0	1	8	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4	
		女	23	5	0	0	18	16	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	2	5	5	11
	計	40	12	0	1	26	22	5	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	3	7	7	15		
	応用生物化学科	男	13	9	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		女	28	15	0	1	11	9	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	1	1	8	
	計	41	24	0	1	14	12	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	2	0	1	0	0	1	1	1	11		
森林科学科	男	22	4	0	0	17	17	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	11	1	16	
	女	14	2	0	0	12	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	6	1	11		
計	36	6	0	0	29	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	3	17	2	27		
食料生産環境学科	男	36	7	1	0	24	24	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	0	2	1	0	2	9	7	17		
	女	27	8	0	0	15	13	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	1	12		
計	63	15	1	0	39	37	10	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	2	1	0	2	19	8	29		
動物科学科	男	8	4	0	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	
	女	21	4	0	0	16	16	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	1	1	6	3	13	
計	29	8	0	0	20	19	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	2	2	6	3	16			
共同獣医学科	男	16	2	0	0	11	11	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	3	2	3	8		
	女	16	0	0	0	13	13	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	5	1	12		
計	32	2	0	0	24	24	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	0	0	3	7	4	20			
計	男	112	33	1	1	67	64	13	3	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	1	5	2	0	10	1	1	8	24	13	51		
	女	129	34	0	1	85	79	15	3	0	0	2	4	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	4	0	8	3	0	10	0	1	6	33	12	67		
計	241	67	1	2	152	143	28	6	1	0	3	5	1	0	3	0	1	0	1	0	2	0	7	1	13	5	0	20	1	2	14	57	25	118			

4 . 大学院修士課程

(1) 在籍者数

総合科学研究科

令和4年10月1日現在

専攻・コース	定員		令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
地域創生専攻 地域産業コース (農学部に所属する教員が指導する学生)			17	7	24	12	6	18	1	-	1	1	-	1	31	13	43
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (農学部に所属する教員が指導する学生)			-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1
農学専攻 植物生命科学コース	50	100	9	4	13	4	3	7	1	-	1	-	-	-	14	7	21
農学専攻 応用生物化学コース			15	10	25	8	7	15	-	-	-	-	-	-	23	17	40
農学専攻 動物科学コース			4	2	6	3	4	7	-	-	-	-	-	-	7	6	13
計			45	23	68	28	20	48	2	-	2	1	-	1	76	43	119

(2) 修了者数

総合科学研究科

専攻・コース	令和4年度	備考
地域創生専攻 地域産業コース	19	
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	1	
農学専攻 植物生命科学コース	8	
農学専攻 応用生物化学コース	12	
農学専攻 動物科学コース	7	
計	47	

(4) 修士論文一覧

令和4年9月修了

なし

令和5年3月修了

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム	高橋 修斗	アルファ化米の米飯品質評価
	阿部 成香	廃棄カキ殻を利用した土の固化処理に関する研究
	伊藤 潤	半球粗度まわりの流砂挙動による付着藻類の剥離効果に関する実験的検討
	伊藤 孝則	AE 波形のスペクトル解析を用いた混和材料添加モルタルの載荷過程評価
	大森 康祐	コマツナ葉部の相対含水率の推定における CNN の有効性の検討
	齋藤 雅貴	堆肥材料のかさ密度と必要な通気圧力との関係
	佐々木 萌	住民による森林管理の実態を踏まえた小規模木質バイオマスエネルギー利用推進施策の課題 - 岩手県紫波町の事例 -
	高橋 海渡	植物の光合成とインピーダンス特性の関係-広帯域周波数における解析-
	高橋 李衣	溶脱を受けた八郎潟粘土地盤の圧密変形特性とその動態予測
	田部田 勉	岩手県におけるカワウの生息状況の変化特性-繁殖の分布と成績に関する要因の解析から-
	寺澤 一輝	樹液食性昆虫を誘引する樹液発生条件の探索 ~ 岩手県低標高域での事例 ~
	平野 清か	蒸発過程にある畑地土壌中での硝化に伴う窒素動態について
YANG SEONG JIN	民間木育施設利用促進をに向けた利用者類型別行動パターンに関する研究 ~ 花巻おもちゃ美術館の事例より ~	
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム	石黒 智大	東北太平洋海域におけるチゴダラの資源生態学的研究
	小川 柚葉	広域かつ即時的な水産資源量分布可視化をめざした船舶位置情報衛星データからの漁獲行動推定と水揚量データの統合アルゴリズム確立
	川村 慧	水産業における生物経済モデル適用の可能性と課題
	荘司 美夏子	赤身魚における水揚げ後の処理および保管方法による鮮度変化
	島陰 直人	凍結保管温度と解凍方法によるホタテガイ (<i>Mizuhopecten yessoensis</i>) 横紋筋の生化学的特性及び微細構造の変化
	備前 棕介	マガキ (<i>Crassostrea gigas</i>) における活力判定指標の開発及び保管に影響を及ぼす要因の検討
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース 防災・まちづくりプログラム	成川 佑弥	中山間地域における NPO による生活支援活動の運営実態 ~ 北上市口内地域と黒岩地域を対象として ~
農学専攻 植物生命科学コース	高橋 弘樹	Understanding the molecular regulation of cold stress response in tomato
	尾形 圭介	ダイコン (<i>Raphanus sativus</i> L.) の効率的な組織培養系の開発に関する研究
	川戸 菜摘	リンゴの組織培養とゲノム編集技術の改良および植物ホルモン制御による樹姿の変化の調査
	竹内 悠真	北東北地域におけるボルバキア感染キタキチョウの分布拡大抑制について
	千田 夏海	植物の凍結過程に伴うカルシウムシグナルと低温顕微鏡によるその解析
	中嶋 瞳	リンゴクロロティックリーフスポットウイルス輪状さび果病分離株の病原性決定領域の解析

専攻・コース等	氏名	修士論文題目
農学専攻 植物生命科学コース	畠山 将幸	リンゴ‘はるか’におけるみつ入り要因の解析
	依田 直哉	ベニシジミの染色体同定に関する研究
農学専攻 応用生物化学コース	阿部 汐里	<i>Cobetia</i> 属細菌による海藻を原料としたバイオプラスチック合成量の向上に関する研究
	梅林 勇氣	海藻を利用可能なバイオプラスチック合成菌 <i>Cobetia</i> sp. IU180733JP01 (5-11-6-3) における遺伝子組換え技術の構築とゲノム編集の検討
	江刺家 勇輝	ザゼンソウ熱産生組織における PEPC のリン酸化修飾に関する研究
	佐藤 奈々	奇数鎖脂肪酸が結合している微生物由来プラスマローゲンのラット体内における吸収動態
	鈴木 瑞季	腐植酸肥料に含まれる植物生育促進物質の精製と植物ホルモン様物質の酵母スクリーニング系の確立
	相馬 奈々子	大腸菌発現系を用いた Calpain1・ERp57 複合体の形成機構に関する研究
	高橋 稀沙羅	咀嚼・嚥下が容易なクッキー様食品の製造に向けた3次元積層造形法の検討
	田中 来実	久慈産琥珀からの RBL-2H3 細胞の脱顆粒抑制活性を指標とした生物活性物質の単離精製と抗アレルギー活性評価
	中村 圭佑	ザゼンソウの熱産生組織におけるインベルターゼとホスホフルクトキナーゼに関する研究
	中村 俊介	サクラマス (<i>Oncorhynchus masou</i>) 骨格筋におけるカルノシンメチル基転移酵素の同定
	藤澤 日土美	久慈産琥珀とフィリピン産アニス由来の生物活性物質の単離精製と構造の検討
	宮木 謙爾	低タンパク質食により誘導される脂肪肝に対するリジン添加食の効果
農学専攻 動物科学コース	大家 功之	運動および筋萎縮モデルにおける骨格筋中エーテル型リン脂質の変動に関する研究
	杉田 美結	アミノ酸アマドリ化合物がニワトリ胚由来線維芽細胞のタンパク質合成に及ぼす影響
	千場 歩美	UAV を用いた草地植生のモニタリング：機械学習による草地の雑草識別
	外山 素海	ニワトリにおけるアミノ酸アマドリ化合物の分解に関する研究
	中村 泰生	接触型電極を用いたインピーダンス測定による冷凍牛肉のテクスチャー特性の非破壊推定
	橋口 季和	加齢および性差が体内エーテル型リン脂質に与える影響に関する研究
	柳瀬 光	ウシ林間放牧下における林床植生および野生動物撮影頻度の変化

5 . 大学院博士課程

(1) 岩手大学大学院獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 4名】

令和4年9月26日

入学年度	専攻	講座	氏名	学位論文題目	指導教員
30	共同獣医学	獣医臨床医科学	黒岩 朋子	周産期乳牛の血乳症における病態と酸化ストレスに関する研究 Pathophysiology and oxidative stress in perinatal dairy cows with hemolactia	佐藤 洋
30	共同獣医学	動物基礎医学	西村 裕	猛禽類における視神経節細胞の分布に関する比較解剖学的研究 Comparative anatomical study of retinal ganglion cell topography in predatory birds	山本 欣郎
30	共同獣医学	獣医衛生科学	LENG DONGZE	牛ウイルス性下痢ウイルス表面蛋白抗原E2を有するDNAベクターの免疫効果を増強させる分子アジュバントに関する研究 Studies on molecular adjuvants to enhance the immunizing effects of DNA vectors bearing bovine viral diarrhea virus surface protein antigen E2	村上 賢二
31	共同獣医学	獣医臨床医科学	木村 真優	イヌ腫瘍におけるトセラニブの治療効果予測因子の解明に関する研究 Studies on therapeutic predictors of toceranib in canine tumors	山崎 真大

【論文提出による学位取得者 1名】

令和4年9月26日

氏名	博士學位論文名	推薦教員
田原 春菜	点眼剤開発のための眼局所における遺伝毒性評価法の開発及びその有用性に関する研究 A study for establishment and utilization of genotoxicity test methods on the ocular surface for the development of ophthalmic drugs	佐藤 洋

【課程修了による学位取得者 2名】

令和5年3月23日

入学年度	専攻	講座	氏名	学位論文題目	指導教員
31	共同獣医学	動物基礎医学	大野 晃治	ジェンツーペンギンにおける画像検査を目的とした全身麻酔法の確立に関する研究 Study on the establishment of general anesthesia for imaging examinations of gentoo penguins	佐藤 洋
31	共同獣医学	動物基礎医学	西浦 颯	神経病原性鳥白血病ウイルスとその分子クローンの分子生物学的ならびに病理学的解析 Molecular Biological and Pathological Studies on Neuropathogenic Avian Leukosis Viruses and the Molecular Clones	落合謙爾

【論文提出による学位取得者 1名】

令和5年3月23日

氏名	博士學位論文名	推薦教員
望月 秀美	モルモットの化学メディエーター誘発アレルギー性結膜炎モデルの最適化と標準化に関する研究 Optimization and standardization of chemical mediator-induced allergic conjunctivitis model in guinea pigs	佐藤 洋

(2) 岩手大学大学院連合農学研究科

【課程修了による学位取得者 7名】

令和4年9月26日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R1	生物生産科学	植物生産学	GONROUDOBOU GNON BOUANRA MARIETTA	山形大学	Effect of boron on the microcracking of tomato fruit (トマトにおけるつやなし果の発生にホウ素が与える影響)	渡辺昌規
31	生物資源科学	生物分子機能学	FERRY FERDIANSYAH SOFIAN	山形大学	Study on cytotoxic phenolic sesquiterpenes isolated from <i>Dysoxylum parasiticum</i> (Osbeck) Kosterm 【Meliaceae】 (センダン科 <i>Dysoxylum parasiticum</i> (Osbeck)Kosterm に含まれる細胞毒性活性を有するフェノール性セスキテルペン類に関する研究)	塩野義人
31	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	TRAN THI HOAI THU	山形大学	The relationship of human resource management practices with employee's job satisfaction and turnover rate in Japanese agricultural businesses in Vietnam (ベトナムの日系農企業における人的資源管理の特徴 従業員満足度と離職率の視点を通して)	渡辺理絵
R1	地域環境創生学	地域環境工学	今野 真輔	山形大学	人工知能を使用した黒毛和種子牛の健康管理技術に関する研究 (The study of health management technique of Japanese black calf using artificial intelligence)	片平光彦
R1	地域環境創生学	地域環境工学	高橋 史夫	山形大学	エダマメ選別機の開発に関する研究 (Studies on development of edamame sorting machine)	片平光彦
R1	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	GONROUDOBOU OROU BERME HERVE	山形大学	Understanding forest ecosystems in steep mountains using Unmanned Aerial Vehicles, Yamagata, Japan (無人航空機を用いた急勾配な山地の森林生態系の解明 (山形、日本))	Lopez Caceres Maximo Larry
R1	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	松嶋 秀土	岩手大学	落石対策手法の高度化に関する研究 (Study on the advancement of rockfall countermeasure methods)	真坂一彦

【論文提出による学位取得者 1名】

令和4年9月26日

氏名	博士學位論文名	推薦教員名 (所属大学)
Md.Golam Rasul	Effects of drying, packaging and storage condition on the quality and shelf life of dried fishery products (乾燥水産物の品質と貯蔵寿命に及ぼす乾燥法、包装および貯蔵条件の影響)	袁 春紅 (岩手大学)

【課程修了による学位取得者 10名】

令和5年3月23日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R1	生物生産科学	植物生産学	RUMAN MD HAFIJUR	岩手大学	Characterization of lysin motif receptor-like kinases in plant (植物のリジンモチーフ受容体様キナーゼの機能評価)	立澤文見
R2	生物生産科学	植物生産学	瀬戸 花香	岩手大学	サルビア属植物の花色とアントシアニン (Flower colors and their anthocyanins in Salvia)	立澤文見
R2	生物生産科学	植物生産学	HASSAN MD RAKIBUL	弘前大学	Impact of elevated temperature and CO ₂ on photosynthesis, phenology, fruit quality and growth of apple tree (気温と二酸化炭素濃度の上昇がリンゴ樹の光合成、発育、果実品質ならびに成長に及ぼす影響)	伊藤大雄
R2	生物生産科学	生物生態制御学	杉田 綾祐	弘前大学	フンタマカビ綱菌類の分類学的研究 (Taxonomic studies of Sordariomycetes)	田中和明
R3	生物資源科学	食品科学	佐々木 勇麻	岩手大学	Influence of postharvest technology application to transportation and processing for fruits and vegetables on reduction of environmental impact (青果物の流通・加工プロセスにおけるポストハーベスト技術が環境負荷低減に及ぼす影響)	折笠貴寛
R2	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	大西 偉益	山形大学	農産物流通における価値共創に関する研究 生産者と消費者・実需者との直接的な取引関係を対象として (Research on co-creation of value in the distribution of agricultural products: study on direct transactional relationships between producers and consumers or food services)	藤科智海
R2	地域環境創生学	地域環境工学	森 智洋	山形大学	ディープラーニングを用いたエダマメ外觀精選別用物体検出AIの学習データに関する研究 (Studies on training data of green soybean appearance quality sorting AI using deep learning)	片平光彦

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
31	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	杉本 咲	弘前大学	ブナにおける晩霜体制の空間的変異に対応した開葉フェノロジーの種内変異に関する生態学的研究 (Ecological studies on intraspecific variation in leaf out phenology of <i>Fagus crenata</i> associated with spatial variation of the late frost regime)	石田 清
R2	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	大崎 晴菜	弘前大学	Effects of plant-plant interactions on resource utilization by phytophagous animals (植物間相互作用が植食性動物の資源利用に与える影響の解明)	山尾 僚
R2	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	福島 良樹	岩手大学	都市部に生息するハクビシン(<i>Paguma larvata</i>)による生息地利用の季節変化に関する研究 (Seasonal changes in habitat use of masked palm civets (<i>Paguma larvata</i>) in urban areas)	原科幸爾

【論文提出による学位取得者 1名】

令和5年3月23日

氏名	博士学位論文名	推薦教員名 (所属大学)
遠藤 佑太	タンパク質膜挿入に関わる因子群と膜電位の協調作用の解析 (Analysis of interplay between factors and membrane potential involved in membrane protein insertion)	西山賢一 (岩手大学)

(3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 なし】

【論文提出による学位取得者 なし】

國際交流

1. 海外渡航

(1) 出張

No	所属	職名	氏名	出張開始～出張終了	目的国	用務内容
1	食料生産環境学科	准教授	袁 春紅	令和4年8月9日～令和4年8月15日	シンガポール	共同研究打合せ
2	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	令和4年8月30日～令和4年9月24日	カナダ・アメリカ	トロント大学研究訪問、サスカチュワン大学DD生との研究進捗会議ほか・CGPSとの打合せ、マサチューセッツ大学共同研究プログラムに関する打合せ等
3	動物科学科	教授	築城 幹典	令和4年9月3日～令和4年9月10日	ノルウェー	第5回国際放射生態学及び環境放射能会議
4	共同獣医学科	教授	村上 賢二	令和4年9月3日～令和4年9月9日	スペイン	第31回世界牛病学会
5	共同獣医学科	准教授	一條 俊浩	令和4年9月3日～令和4年9月9日	スペイン	第31回世界牛病学会
6	大学院獣医学研究科	学生	酒井 祐輔	令和4年9月3日～令和4年9月9日	スペイン	第31回世界牛病学会
7	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和4年9月5日～令和4年9月11日	アメリカ	テキサステック大学での共同研究の打合せ
8	地域創生専攻	学生	ヤン ソンジン	令和4年9月14日～令和4年9月20日	韓国	グローバルコミュニケーション受講
9	地域創生専攻	学生	渡邊 颯太	令和4年10月14日～令和4年10月28日	アメリカ	6thIHBCW国際ワークショップポスター発表(グローバルコミュニケーション)
10	大学院連合農学研究科	学生	董 師良	令和4年10月27日～令和4年12月3日	シンガポール	海外インターンシップ
11	大学院獣医学研究科	学生	千葉 優介	令和4年10月28日～令和4年11月3日	ペルー	第47回世界小動物獣医師大会(WSAVA)及び第18回イベロアメリカ連盟伴侶動物獣医師会(FIAVAC)大会にて発表
12	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	令和4年11月8日～令和4年11月17日	アメリカ	研究大会、授賞式参加
13	大学院連合農学研究科	学生	牛 雅斌	令和4年11月26日～令和4年12月4日	シンガポール	海外グローバルコミュニケーション(世界養殖大会)
14	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	令和4年12月3日～令和4年12月20日	バングラデシュ	学会参加のため
15	応用生物化学科	教授	塚本 知玄	令和5年2月20日～令和5年2月24日	韓国	(韓国協定校)全南大学麗水キャンパス訪問・交流のため
16	応用生物化学科	准教授	伊藤 芳明	令和5年2月20日～令和5年2月24日	韓国	(韓国協定校)全南大学麗水キャンパス訪問・交流のため
17	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和5年2月26日～令和5年3月14日	ブラジル、アルゼンチン、チリ	南米の農業の調査
18	大学院連合農学研究科	学生	杉田 健史	令和5年2月28日～令和5年3月9日	アメリカ	American Association for the advanced of science annual meeting参加、連大卒業生との対談
19	寒冷フィールド	教授	山本 信次	令和5年3月12日～令和5年3月20日	オーストリア	木質バイオマス利用と森林管理に関する情報収集・現地調査
20	大学院連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和5年3月12日～令和5年3月20日	オーストリア	木質バイオマス利用と森林管理に関する情報収集・現地調査
21	食料生産環境学科	准教授	袁 春紅	令和5年3月28日～令和5年4月5日	中国	共同研究打合せ

(2) 研修

令和4年度は、研修の実績なし。

2. 外国人研究者の受入

令和4年度は、受入の実績なし。

3. 留学生の受入

令和4年11月1日現在

		中国	韓国	バングラ	ベトナム	ドイツ	エチオピア	計	
学部	植物生命科学科	3	1					4	
	応用生物化学科				1			1	
	森林科学科								
	食料生産環境学科								
	動物科学科	1						1	
	共同獣医学科								
計		4	1		1			6	
大学院	総合科学研究科 農学専攻	2	1					3	
	総合科学研究科 地域創生専攻()		1					1	
	計	2	2					4	
研究生等	研究生	学部	1					1	
		大学院			2		1	3	
	特別聴講学生	学部	2				1		3
		大学院							
計		3		2		1	1	7	
合計		9	3	2	1	1	1	17	

は、農学部に所属する教員が受け入れた留学生の人数を記載。

4. 交換留学生の派遣と受入

(1) ロッテンブルグ大学

区分	期間・人数等
受入	2022.10～2023.8 農学部 特別聴講学生 1名

(2) 上海海洋大学

区分	期間・人数等
受入	2022.10～2023.2 農学部 特別聴講学生 1名
	2022.10～2023.8 農学部 特別聴講学生 1名

令和4年度は、派遣の実績はなし。

地域交流

1 . セミナー・公開講座等の開催

(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの
（植物生命科学科）

第44回 岩手育種談話会・第27回 植物生命科学セミナー

- ・開催日：令和4年9月15日（木）
- ・場所：岩手大学農学部（6番講義室）
- ・テーマ：「ダイコンのフロリゲンを利用したキャベツの早期開花技術の開発」
- ・講師：元木 航（京都大学農学研究科附属農場）
- ・テーマ：「イネ抵抗性タンパク質が進化の過程で獲得した病原菌因子を見破るしくみ」
- ・講師：清水元樹（岩手生物工学研究センター）
- ・参加人数：25名
- ・共催：岩手農林研究協議会（AFR）
- ・世話人：畠山勝徳（岩手大学准教授）

第24回 りんどう研究会

- ・開催日：令和4年10月28日（金）
- ・場所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）ぼらんホール）
- ・テーマ：「リンドウの病害診断と耐病性研究」
- ・講師：藤崎恒喜（岩手生物工学研究センター）
- ・テーマ：「露地作物の生育予測技術」
- ・講師：中山真義（農研機構野菜花き研究部門）
- ・参加人数：44名
- ・共催：岩手農林研究協議会（AFR）
- ・世話人：畠山勝徳（岩手大学准教授）

（森林科学科）

第238回 木を勉強する会（木勉会）

- ・開催日：令和4年9月9日（金）15：00～17：00
- ・場所：岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室4
- ・テーマ：木材と水の関係から耐久性を考える
- ・講師：岩手県立大学盛岡短期大学部 生活科学科 大澤朋子 氏
- ・参加人数：12名

第239回 木を勉強する会（木勉会）

（ノースジャパン素材流通協同組合 令和4年度技術検討会）

- ・開催日：令和4年9月12日（月）13：00～17：00
- ・場所：岩手県教育会館多目的ホール
- ・テーマ：国産材時代を見据えたスギ赤味土台の活用に向けての技術課題
- ・講師：岩手県林業技術センター 谷内博規 氏
森林総合研究所 伊神裕司 氏
農林水産省大臣官房 川原 聡 氏
- ・参加人数：約150名（オンライン参加を含む）

第240回 木を勉強する会（木勉会）

- ・開催日：令和4年11月30日（水） 14：30～16：30

- ・場 所：盛岡市勤労福祉会館（盛岡市紺屋町2・9）
- ・テ ー マ：盛岡市産材の取り組み
- ・講 師：盛岡市農林部林政課課長 高橋宏樹 氏
株式会社坂東木材代表取締役社長 坂東 学 氏
- ・参加人数：11名

第241回木を勉強する会（木勉会）

- ・開 催 日：令和5年1月12日（木）13：30～15：30
- ・場 所：岩手県森林組合会館 5階 大研修室
- ・テ ー マ：林業における機械化と労働安全 ・現状と課題・
- ・講 師：岩手大学名誉教授 立川史郎 氏
- ・参加人数：約60名

第242回木を勉強する会（木勉会）

（岩手県工業技術センター木材加工技術講習会）

- ・開 催 日：令和5年2月22日（水）13：30～15：30
- ・場 所：岩手県工業技術センター 1階 大ホール
- ・テ ー マ：県産木材を食品に活かす
- ・講 師：岩手県工業技術センター食品技術部部長 伊藤良仁 氏
主任専門研究員 晴山聖一 氏
主任専門研究員 伊藤菜々 氏
- ・参加人数：18名

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

牛の体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用編）

- ・対 象：畜産技術者
- ・開 催 日：令和4年4月4日（月）～16日（土）
- ・場 所：御明神牧場
- ・定 員：1名
- ・内 容：（株）フジモリ牛群サポートの胚培養士に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

ユリノキ育成試験に向けた現地検討会

- ・対 象：林業関係の産官学諸団体（東北森林管理局，株式会社ウツティかわい，森林総合研究所，林木育種センター東北育種場，その他）
- ・開 催 日：令和4年4月6日（水）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：20名
- ・内 容：滝沢演習林内のユリノキ人工林で現地検討会を開催し，あわせて関係者の連携の取り組みについて意見交換を行った。

牛の人工授精等に関する技術研修

- ・対 象：畜産技術者
- ・開 催 日：令和4年6月1日（水）～7月4日（月）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：1名

- ・内 容：(株)Nイヤサカに新規採用された畜産技術者に対し、牛の直腸検査、人工授精などに関する技術研修を実施した。

岩手ブルーベリーの会栽培講習会

- ・対 象：岩手県内ブルーベリー生産者
- ・開 催 日：令和4年6月25日(土)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：37名
- ・内 容：岩手県立大学において、渡邊教員が海外のブルーベリー情報について講義し、その後、滝沢農場でブルーベリー品種見本園を見学した。

公開シンポジウム「木質バイオマスエネルギーの小規模利用に向けて」(主催 (国研)国立研究開発法人森林研究・整備機構)

- ・対 象：都道府県職員，市町村職員，企業，研究者等
- ・開 催 日：令和4年7月6日(水)
- ・場 所：オンライン
- ・参加人数：173名
- ・内 容：森林総合研究所の木質バイオマスエネルギーのプロジェクト研究の成果報告会において、基調講演を行った。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用編）

- ・対 象：獣医師
- ・開 催 日：令和4年8月1日(月)～12日(金)
- ・場 所：御明神牧場
- ・定 員：1名
- ・内 容：山形県農業共済組合の職員(獣医師)1名に対し、御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供し、牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する技術について教授した。

令和4年度現場技能者キャリアアップ対策フォレストリーダー研修（森林整備部門）

- ・対 象：林業の現場技能者
- ・開 催 日：令和4年8月2日(火)
- ・場 所：岩手県林業技術センター研修室
- ・参加人数：21名
- ・内 容：岩手県内の現場技術者に対し、森林管理目標，間伐，主伐，低コスト造林，目標林型に向けた施業設計に関する講義・演習(計6時間)を行った。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修

- ・対 象：宮崎大学獣医学科教員および5年生
- ・開 催 日：令和4年8月8日(月)～12日(金)
- ・場 所：御明神牧場
- ・定 員：2名
- ・内 容：宮崎大学獣医学科教員および5年生1名に対し、御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供し、牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する技術について教授した。

森林認証学習会「森林認証制度の活用による岩手県産木材の付加価値向上を目指して」(主催 岩手県森林組合連合会)

- ・対象：森林組合，木材関係企業等
- ・開催日：令和4年9月14日（水）
- ・場所：岩手県森林組合連合会，オンライン
- ・参加人数：50名
- ・内容：森林認証の学習会において，基調講演とパネルディスカッションを行った。

いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対象：岩手県内の農業者等
- ・開催日：令和4年9月22日（木）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：18名
- ・内容：由比教員と渡邊教員が，それぞれ野菜とブルーベリーに関して講義した。その後，イネ初冬直播き栽培，リンゴ‘はるか’，クッキングトマトなどを見学した。

令和4年度現場技能者キャリアアップ対策フォレストリーダー集合研修（森林整備研修）

- ・対象：林業の現場技能者
- ・開催日：令和4年9月28日（水）
- ・場所：宮城県森林組合連合会大衡総合センター研修室
- ・参加人数：11名
- ・内容：宮城県内の現場技術者に対し，森林管理目標，間伐，主伐，低コスト造林，目標林型に向けた施業設計に関する講義・演習（計6時間）を行った。

令和4年度林業技士養成研修スクーリング研修（間伐技術）

- ・対象：林業経営に携わる技術者，公務員
- ・開催日：令和4年12月7日（水）
- ・場所：主婦会館プラザエフ 会議室（東京都千代田区）
- ・参加人数：85名
- ・内容：間伐技術（間伐の意義，間伐方法，混み合い度指標，無間伐林の成長，間伐効果，林分密度管理図，列状間伐と強度間伐，公益的機能，目標林型）に関する講義（計3時間）を行った。

2022年度 INS 冬季講演会

- ・対象：INS 会員
- ・開催日：令和4年12月10日（土）
- ・場所：マリオス
- ・参加人数：50名
- ・内容：INS 冬季講演会において，森林・林業の現状と課題について講演を行った。

令和4年度「地域内エコシステム」モデル構築事業 第2回地域集合研修

- ・対象：市町村職員等
- ・開催日：令和5年1月11日（水）
- ・場所：オンライン
- ・参加人数：30名
- ・内容：計画的な木質バイオマスボイラー導入について講演を行った。

個体別型哺乳ロボットシステム研修会

- ・対象：畜産技術者

- ・開催日：令和5年1月12日（木）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加人数：6名
- ・内容：参加予定7名の内1名がインフルエンザにより直前に参加できなくなった。農業改良普及員，青森県農業大学校，農協関係者に対し，学内外の講師を招き，技術職員による御明神牧場における個別型哺乳ロボットシステムの導入事例を紹介しながら，同システムの紹介と普及のための研修会を実施した。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修会（基本技術編）

- ・対象：臨床獣医師
- ・開催日：令和5年1月19日（木）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加人数：4名
- ・内容：岩手（1名，開業獣医），山形（2名，農業共済組合），福島（1名，酪農業協同組合）と東北各県からまんべんなく参加していただいた。牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する基本的技術について，御明神牧場で飼養する雌牛や雌牛生殖器を研修材料に提供し，講演と実習により教授した。

岩手ブルーベリーの会剪定講習会

- ・対象：東北地域のブルーベリー生産者
- ・開催日：令和5年3月25日（土）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：35名
- ・内容：岩手県立大学において，渡邊教員がブルーベリーの夏秋季開花について情報提供した。その後，滝沢農場のブルーベリー園において，岩手ブルーベリーの会役員が講師となり，参加者に対して剪定の実技を指導した。

（附属動物病院）

令和4年度第1回岩手大学動物病院セミナー

- ・開催日：令和4年6月16日（木）19：30～20：30
- ・場所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テーマ：神経疾患の研究履歴と臨床応用
- ・講師：共同獣医学科 中田浩平 助教
- ・参加人数：38名

令和4年度第1回附属動物病院動物看護師・学生セミナー

- ・開催日：令和4年6月22日（水）17：00～18：00
- ・場所：岩手大学農学部附属動物病院臨床実習室3
- ・テーマ：麻酔中の低血圧への対応
- ・講師：酪農学園大学獣医麻酔学ユニット 伊丹貴晴 准教授
- ・参加人数：25名

令和4年度第2回岩手大学動物病院セミナー

- ・開催日：令和4年7月21日（木）19：30～20：30
- ・場所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テーマ：あきらめてはいけないイヌの早期がん診断 -イヌの血液によるがん検診-

- ・講 師：伊藤 博 先生（元東京農工大学教授）
- ・参加人数：31 名

令和4年度第2回附属動物病院動物看護師・学生セミナー

- ・開 催 日：令和4年9月12日（月）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院伴侶動物診療棟2階・臨床実習室3，オンライン
- ・テ ー マ：術前後のリスク評価と適切な管理
- ・講 師：高木 哲 先生（麻布大学獣医学部小動物外科・教授）
- ・参加人数：28 名

令和4年度第3回岩手大学動物病院セミナー

- ・開 催 日：令和4年9月29日（木）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院産業動物臨床棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テ ー マ：放射線治療の使いどころ
- ・講 師：動物病院 藤原玲奈 特任助教
- ・参加人数：29 名

令和4年度第4回岩手大学動物病院セミナー

- ・開 催 日：令和4年11月4日（金）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院産業動物診療棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テ ー マ：自己紹介と最近の二次診療症例
- ・講 師：動物病院 木南藍子 特任助教
- ・参加人数：18 名

令和4年度第5回岩手大学動物病院セミナー

- ・開 催 日：令和4年12月2日（金）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院産業動物診療棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テ ー マ：手術支援としての画像診断
- ・講 師：動物病院 南雲隆弘 特任助教
- ・参加人数：23 名

令和4年度第6回岩手大学動物病院セミナー

- ・開 催 日：令和5年1月19日（木）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院産業動物診療棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テ ー マ：動物介在学研究と獣医療における展望
- ・講 師：共同獣医学科 宮崎珠子 准教授
- ・参加人数：19 名

令和4年度第7回岩手大学動物病院セミナー

- ・開 催 日：令和5年1月26日（木）19：30～20：30
- ・場 所：岩手大学動物病院産業動物診療棟2階・遠隔講義室，オンライン
- ・テ ー マ：犬の僧帽弁疾患の基本とその先～正しいステージングと心腎連関（心臓と腎臓の繋がり）～
- ・講 師：動物病院 森田智也 助教
- ・参加人数：32 名

(附属動物医学食品安全教育研究センター)

第 19 回 FAMS 全体研修会

- ・開 催 日：令和 4 年 9 月 21 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 00
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ぼらんホールならびに Webex を用いた同時配信
- ・テ ー マ：「農業マネジメントと飼養衛生管理」
- ・参加人数：63 名

FAMS 成果発表会および JRA 牛白血病対策セミナー

- ・開 催 日：令和 5 年 2 月 20 日 (月) 13:30 ~ 15:30
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ぼらんホールならびに Webex を用いた同時配信
- ・参加人数：56 名

6 大学共同開催フォーラム

- ・開 催 日：令和 5 年 3 月 9 日 (木) 9:30 ~ 18:00
- ・場 所：大阪公立大学 I-site なんば
- ・テ ー マ：「10 年，20 年後の食の安全を考える」
- ・主 催：大阪府立大学食品安全科学研究センター，東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター，神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター，東北大学大学院農学研究科附属食と農免疫国際教育研究センター，宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの

(農学部)

第 66 回農業実験実習講習会 (主催：公益財団法人全国学校農場協会)

- ・対 象：高等学校農業担当教員 (教諭・講師・実習教諭・実習助手)
- ・開 催 日：令和 4 年 7 月 25 日 (月) ~ 29 日 (金)
- ・場 所：岩手大学
- ・担 当：下野裕之，山本信次，由比進，立石貴浩，前田武己，川原田泰之
- ・参加人数：15 名
- ・内 容：高等学校農業担当教員の科学的・専門的な知識及び技術の習得と指導力の向上を図ることを目的に，実験実習講習会を実施した。

(森林科学科)

スモール・フォレスト・カレッジ (わが流域環境ネット山づくり講習会)

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和 4 年 12 月 10 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 00
- ・場 所：花巻市花北振興センター 講堂
- ・講 師：真坂一彦
- ・参加人数：40 名
- ・内 容：第 1 部「森・ミツバチ・食のつながり：森林はモリやハヤシではない」と題して，森林の生態系サービスの一つとして蜜源機能を紹介し，第 2 部「海岸林造成の歴史と失敗の原因」では，日本の海浜環境の成立要因と海岸林造成における失敗の根本的原因を説明した。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

第 170 回フィールドセミナー (総合学習時間における森林学習 (49))

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校 1 年生

- ・開催日：令和4年7月5日（火）
- ・場所：国立岩手山青少年交流の家
- ・参加人数：73名
- ・内容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

第171回フィールドセミナー（総合的学習時間における森林学習（50）・技術職員と学ぶ森林作業・）

- ・対象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・開催日：令和4年7月6日（水）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：73名
- ・内容：森林管理作業の体験として下草刈り作業と自然観察のためのネイチャーゲームを実施し、森林とその管理についての学習を行った。

FSC共催令和4年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「南部アカマツの森を尋ねて」（夏の部）

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和4年7月29日（金）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：10名
- ・内容：里山に関する講義とアカマツ林を中心に里山の自然観察を行った。

FSC共催令和4年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「南部アカマツの森を尋ねて」（秋の部）

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和4年10月14日（金）
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：10名
- ・内容：里山に関する講義とアカマツ林を中心に里山の自然観察を行った。そのうえで伐採作業についての見学も実施した。

NPO法人自然エネルギーを広める岩手の会 講演会

- ・対象：一般市民
- ・開催日：令和4年11月26日（土）
- ・場所：河南公民館
- ・参加人数：20名
- ・内容：自然エネルギーの勉強会において、木質バイオマスエネルギーの現状について講演を行った。

（附属動物病院）

令和4年第1回パピークラス@岩手大学

- ・開催日：令和4年7月2日，9日，16日，23日，8月6日（土）10:00～11:30
- ・場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室
- ・テーマ：子犬の社会科
- ・講師：動物病院 宮田真智子 客員教授
- ・参加人数：2家族（合計4名，犬2頭）

令和4年第2回パピークラス@岩手大学

- ・開催日：令和4年10月8日，15日，29日，11月5日（土）10:00～11:30
- ・場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室
- ・テーマ：子犬の社会科
- ・講師：動物病院 宮田真智子 客員教授
- ・参加人数：3家族（合計7名，犬3頭）

令和4年第3回パピークラス@岩手大学

- ・開催日：令和5年2月18日，3月4日，18日，25日（土）10:00～11:30
- ・場所：岩手大学農学部附属動物病院待合室
- ・テーマ：子犬の社会科
- ・講師：動物病院 宮田真智子 客員教授
- ・参加人数：1家族（合計3名，犬1頭）

(3) 公開講座等

ア 公開講座

（農学部）

「夢ナビライブ2022 in Summer」

- ・対象：高校生
- ・開催日：令和4年7月9日（土）～10日（日）
- ・開催方法：ライブ配信
- ・参加人数：520名
- ・内容：各学科の8名の教員による計20コマの「質問対応・研究室訪問」を実施し，講義ビデオへの質問対応や進学情報の提供を行った。

「夢ナビライブ2022 in Autumn」

- ・対象：高校生
- ・開催日：令和4年10月21日（土）～22日（日）
- ・開催方法：ライブ配信
- ・参加人数：339名
- ・内容：各学科の5名の教員による計14コマの「質問対応・研究室訪問」を実施し，講義ビデオへの質問対応や進学情報の提供を行った。

（応用生物化学科）

科研費ひらめき ときめきサイエンス

「にょの科学～ネコのマタタビ反応に学ぶ動物の生存戦略を学ぼう」

- ・対象：小学校5年生～高校3年生
- ・開催日：令和4年7月30日（土）
- ・場所：岩手大学
- ・担当：宮崎雅雄（岩手大学教授）
- ・参加人数：16名
- ・内容：科研費で行われている研究について，科学の興味深さや面白さを講義，実験等を通じて受講生に研究の素晴らしさや楽しさを体感させるプログラム。

（森林科学科）

「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」

- ・対象：高校生
- ・開催日：令和4年10月22日(土)9:30~12:30
- ・場所：滝沢演習林
- ・参加人数：11名
- ・内容：滝沢演習林において、林道を歩きながら森林の更新方法と樹木の成長、花の咲かせ方、花粉交配の在り様、そして森林の構造の関係について説明した。

(共同獣医学科)

「獣医学のすすめ」

- ・対象：中高年生
- ・開催日：令和5年3月15日(水)13:30~15:00
- ・場所：岩手大学農学部7番講義室，Web配信
- ・参加人数：79名
- ・内容：本講座は岩手大学共同獣医学科を志望する中高年生を対象に，入学前に知っておいてほしい獣医学分野の国内外の動向や本学共同獣医学科の役割，地域枠入試実施の背景，新設の産業動物臨床・疾病制御教育研究センターの概要などを紹介し，進路選択に役立つ情報を提供することを目的に実施した．具体的には，教員2名による解説の後，受講生と若手教員3名との質疑応答を行った。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

第3回大学農場で体験する食と農と生物学

- ・対象：農業，植物，生物に興味のある高校生，高校生と保護者，高校教員
- ・開催日：令和4年7月27日(水)
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：16名
- ・内容：クッキングトマト，ブルーベリーの収穫体験，農場学生による研究紹介，教員による野菜と果樹の講義，ブルーベリージャム作りを行った。

公開講座 第172回フィールドセミナー 親子シリーズ(33)

- ・対象：一般市民・児童
- ・開催日：令和4年11月6日(日)
- ・場所：滝沢演習林
- ・テーマ：ウォッチングビンゴをしながら親子で楽しむ秋の森
- ・参加人数：9名
- ・内容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，紅葉が散り始めた広葉樹見本林内林道を散策した．リピーター親子の子供たちを中心に，落ち葉の中の昆虫や植物などたくさんの発見があった．道中，鳴き声とともにハクチョウが頭上を飛来する光景を何度も眺めることができ，冬を迎える前の森の様子を全身で感じたセミナーとなった。

公開講座 第173回フィールドセミナー 親子シリーズ(34)

- ・対象：一般市民・児童
- ・開催日：令和5年3月26日(日)
- ・場所：滝沢演習林
- ・テーマ：春をむかえる 森をみる
- ・参加人数：13名

- ・内 容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，10 林班にてウスタビガヤクスサンの繭，シラカバの樹木などの動植物の観察を行った。

イ アグリビジネス創出フェアへの出展

- ・開 催 日：令和4年10月26日（水）～10月28日（金）
- ・場 所：東京ビッグサイト 西1ホール
- ・内 容：水産ブース：地域に根差したサーモン養殖研究の取り組み
（食料生産環境学科 平井俊朗教授・三陸水産研究センター）
食品ブース：ジビエの迅速遺伝子検査機器の開発 （共同獣医学科 山崎朗子助教）

ウ その他

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

花苗販売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和4年4月7日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：58名
- ・内 容：ピオラ，パンジー苗を中心に春の花壇の花苗を販売した。

ブルーベリー摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和4年7月14日（木），7月19日（火），7月21日（木），7月25日（月），7月28日（木），8月8日（月）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：369名
- ・内 容：新型コロナウイルス対策のため完全予約制で実施した。

第27回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和4年8月4日（木）
- ・場 所：学生センター横
- ・参加人数：約100名
- ・内 容：植物生命科学科3年生が履修する農場特別実習の一環で，学生が収穫，調整した農場生産物を販売した。販売物は，トウモロコシ，モモ，ブルーベリー，エダマメ，味噌，雑穀，花苗等であった。

第28回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和4年12月2日（金）
- ・場 所：学生センター前
- ・参加人数：約120名
- ・内 容：植物生命科学および食料生産環境学科食産業システム学コース2年生が履修する農場実習IIの一環で，学生が収穫，調整した農場生産物を販売した。販売物は，リンゴ，サツマイモ，ダイコン，サトイモ，コメ，シクラメン，ブルーベリージャム，味噌，雑穀等であった。

リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和4年12月13日（火）, 令和5年1月11日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：154名
- ・内 容：家庭用向け‘ふじ’などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

2. その他の地域連携事業

(1) いわてアグリフロンティアスクール

ア 事業実施の背景、目的

(ア) 平成 24 年度までの取組経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。

岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

(イ) 新体制での取組(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

(ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和 4 年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和 3 年度はこれまでの事業内容を踏襲しながら、選択可能な科目の幅を広げるカリキュラム見直しや、新型コロナウイルス感染症対策による講義スケジュールの変更、遠隔講義の試行などの一部改変を行なった。

平成 28～令和 4 年度の受講生は 221 名で、履修証明書は 188 名に交付され、「アグリ管理士」は 183 名に授与された。

イ 令和 4 年度の実施状況

- (ア) 開講式 令和 4 年 5 月 26 日（木）
- (イ) 開講期間 令和 4 年 5 月 26 日（木）～令和 5 年 1 月 27 日（金）
- (ウ) 修了式 令和 5 年 2 月 6 日（月）
- (エ) 入学者数 25 名
- (オ) 修了者数 24 名（うちアグリ管理士資格授与者 24 名）

科目名	日数	時間数 (単位:h)	科目群				
			農業経営	6次産業化	農村地域活動		
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3	18時間 以上 選択		
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6			
	人的資源・労務管理	講義	1	6			
	経営成長・経営継承	講義	1	6			
	農業経営戦略論	講義	1	6			
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12		-	
	農業簿記・経営診断演習	講義・演習	1	6	○	○	○
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6			
	経営改善計画演習	演習	1	6			-
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12			-
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	-	-	
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6			
「農業生産管理」 科目	土壌管理（土壌・肥料）	講義	1	6	9時間 以上 選択	9時間 以上 選択	-
	病害虫管理（防除・農薬）	講義	1	6			-
	農場の衛生管理	講義	1	6			-
	農業機械	講義・演習	0.5	3			-
「6次産業化推進」 科目	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	12時間 以上 選択		9時間 以上 選択
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			
	地域資源活用論	講義	1	6			
	食産業ビジネス論	講義	1	6			
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	12時間 以上 選択	9時間 以上 選択	
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			
	都市農村交流論	講義	1	6			
	地域活性化論	講義・演習	2	12			
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6			
	商品開発	講義	0.5	3			
	デザインとブランド	講義・演習	1	6			
	ネット&デジタル技術活用	講義	1	6			
現地研修等 インターンシップを 行う者は*科目のい ずれかと振替	現場スタディ	現地研修	2	12			
	マーケティング改善演習*	演習・現地研修	2	12			
	農業技術先進地研修*	現地研修	2	12		-	
	6次産業関連現地研修*	現地研修	2	12	-		
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6			
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6			-
受講可能時間数：農業経営・6次産業化 219時間 農村地域活動 210時間 修了にかかる必須時間数：120時間（必修科目含む）							

(2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壯学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、平成30年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など7の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和4年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農）	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授）	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科）	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育）	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農）	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農）	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。
業	木質資源総合利用研究会	関野 登（岩大農）	低炭素輩出社会並びに高炭素蓄積社会の構築には、木質資源の持続的かつ総合的な利用が重要となる。本研究会は、木質資源の利用拡大に向けて、構成員が係わる分野の技術課題や現状について情報交換を行うとともに、研究連携の基盤を醸成することを目的とする。

3 . 受託研究員の受入

氏名	最終学歴		所属会社名 又は 機関名	研究題目	研究期間		受入 研究科・ 専攻等	指導教員	
	区分				開始	終了		職名	氏名
岡本 春明	C	平成13年度	栃木県農業 試験場	ニホンナシの凍霜害対策技 術に関する調査・検討	R4.9.1	R4.9.30	寒冷フィール ドサイエンス 教育研究セン ター	助教	渡邊 学

区分=大学院博士「A」、大学院修士「B」、大学卒「C」、大学院入学資格者「D」、その他「E」

附属施設

1．附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

1-1．地域フィールド総合科学分野（第一分野）

(1) 概要，教育研究の内容

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター第1分野（農学部内）は，本センターの設置（2002. 4. 1，平14）に伴って設置された．

第1分野は，地域フィールド総合科学分野と称し，フィールドサイエンスに関する教育研究を企画立案し，農学部と地域社会との窓口（連携調整）の役割を担っている．また，地域の活動や課題を調査研究し，総合的フィールド科学教育，地域マネジメント，農畜林複合経営などの実践的な教育研究を行う．さらには，農学部からの協力教員の参加を得て，フィールド科学に関する情報の収集・発信，地域からの支援要請，依頼研究，共同研究を推進する．

(2) 地域貢献

地域貢献事業は，職業的専門家（経営者・技術者等），一般市民・児童生徒を対象に開催されている．職業的専門家が対象の事業には，獣医師対象の研修や森林・林業技術者のスキルアップを目指した研修などがある．一般市民・児童生徒が対象の事業では，中学生対象の森林学習やセンター産農林産物の直売などが行われている．

1-2．持続型農業生産技術分野（第二分野，滝沢農場および御明神牧場）

(1) 概要

持続型農業生産技術分野は，滝沢農場と御明神牧場から成り立っている．

・滝沢農場（所在地：岩手県滝沢市巣子 1552，面積 44ha）

本農場は 1902（明 35）年に盛岡高等農林学校が創設されるに当たり，校舎敷地内（現上田キャンパス）に設置された附属実験農場が始まりである．その後の新制大学移行に伴い，大学の整備計画の進展と農業近代化に対応するため 1966（昭 41）年に農林省種畜牧場用地の一部所管換えを受け，滝沢農場が設立された．以後，1976（昭 51）年 3 月に農産製造実験実習棟が新築されたのを始め，温室，果樹収納貯蔵庫，短期学生宿舎が新設されるなど，施設・設備の整備が行われ現在に至っている．現在は作物および園芸の 2 部門を柱に，学生の実習教育や教員・大学院生等の研究に活用されている．

・御明神牧場（所在地：岩手郡雫石町御明神大石野，54 ha）

本牧場は，1906（明 39）年に設置された盛岡高等農林学校附属経済農場に始まる．戦前には文部省第一拓殖訓練所が併設され，多くの若者が満蒙開拓の夢を抱いて現牧場用地の開墾を行った．大学移行後の農学部附属経済農場を経て 1984（昭 59）年に農学部附属御明神牧場と改称された．ここでは山麓高冷地の立地条件を活かし，家畜の飼養管理と衛生，飼料作物管理とサイレージ調製を中心に実習教育が行われている．近年は，黒毛和種の優良系統を導入して繁殖育成に関する高度な研究が行われている．

(2) 教育研究の内容

実習教育の充実，卒業論文の指導，地域貢献を柱に，教育研究活動を展開している．学内において当分野が担当するのは，作物，園芸，畜産に関する基本技術についての体系的な実習教育である．また，盛岡大学・富士大学の实習や岩手県立盛岡みたく支援学校高等部・岩手大学教育学部附属特別支援学校の農業体験実習等を行っている．加えて，当分野のフィールドでは教育学部や理工学部も含めた多様な実習・実習が行われている．地域貢献では「いわてアグリフロンティアスクール，御明神牧場一般公開」などが行われている．

(3) 実習等

滝沢農場及び御明神牧場で実施する学生実習等は、次表のとおりである。

農場実習・牧場実習（学内向け）

学科・課程名等	科 目	単位数	2年(1年)		3年 前期	全学 後期	場 所
			前期	後期			
全学向け教養教育	地域クリエイト課題演習	2				3時間	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
植物生命科学科	農場実習	1	3時間				滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習	1	3時間				滝沢農場
植物生命科学科	農場実習	1		3時間			滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習	1		3時間			滝沢農場
植物生命科学科	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場, 2022年度は日帰り5日
食産業システム学 コース	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場, 2022年度は日帰り5日
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
動 物 科 学 科	牧場実習	1			3泊4日		御明神牧場, 2022年度は日帰り4日

学部実習等への協力並びに施設の利用計画

学科・課程名等	科 目	前期	後期	摘 要
動 物 科 学 科	牧場実習	3年		一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験（動物遺伝育種学 動物行動学）		2年	一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験（動物繁殖学）	3年		一部を御明神牧場で実施
	人工授精師講習会実習		4年	一部を御明神牧場で実施
共同獣医学科	繁殖機能制御学実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	大動物臨床実習基礎編	5年		一部を御明神牧場で実施
	産業動物内科実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	動物衛生学実習		1年	一部を御明神牧場で実施
	小動物内科学実習・応用編		4年	一部を御明神牧場で実施
	直腸検査技術実習（任意）		5・6年	御明神牧場で実施
人 社 , 教 育 , 理 工 , 農 学 部	地域クリエイト課題演習		4年	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
東京農工大学 共同獣医学科	参加型臨床実習	5年		一部を御明神牧場で実施（2022年度は動物病院のみで実施）
学 生 支 援 課	特別支援学生による活動プログラム	特別支援 指定学生	特別支援 指定学生	特別支援指定学生, 3~5名(全学, 大学院) . 上田下台圃場 における, 農作業体験, 栽培体験

学外実習等への協力並びに施設の利用計画

学外機関名	科目	のべ人数	日時	摘 要
附属特別支援学校	実習	53		
みたけ支援学校	農場実習	82		滝沢農場で年間5回
盛岡大学	生物学	33	5月	一部滝沢農場で実施
岩手県立大学	地域政策講座ゼミ	25	6~11月	2022年度は中止
富士大学	フィールドワーク	16	8月	一部御明神牧場, 御明神演習林で実施
	フィールドワーク	23	7月	一部滝沢農場で実施
盛岡大学	地域食材資源論	51	10月	一部滝沢農場で実施

滝沢農場 開放事業等 (2022年度)

月日	部門	内容等	担当職員	参加者	案内方法等
4月7日(木)	温室	花苗販売	5名	58名	ハガキ50枚で案内
7月14日(木)	果樹	ブルーベリー 摘み取り	全員	57名	学内メール, ハガキ100枚で案内, すべて予約制
7月19日(火)	果樹		全員	56名	
7月21日(木)	果樹		全員	43名	
7月25日(月)	果樹		全員	69名	
7月28日(木)	果樹		全員	76名	
8月8日(月)	果樹		全員	68名	
8月4日(木)	果樹	販売会	5名	100名	学内メール, 上田キャンパス(農場実習)
12月2日(金)	果樹	販売会	8名	120名	学内メール, 上田地域町内会へのチラシによる案内 上田キャンパス(農場実習)
12月13日(火)	果樹	リンゴ販売会	8名	101名	ハガキ100枚で案内
1月11日(水)	果樹	リンゴ販売会	7名	53名	12月13日参加者に案内チラシ配布

(4) 土地利用計画 (単位 a)

	滝沢農場	御明神牧場	合計
水田	544		544
畑作	61		61
牧草地	900	3,400	4,300
果樹園	430		430
蔬菜園	26		26
花卉	1		1
温室	4		4
野草地		400	400
小計	1,966	3,800	5,766
建物敷地, 防風林	1,805	1,552	3,357
総計	3,771	5,352	9,123

(5) 家畜

家畜頭数 (令和5年3月31日現在)

種類	御明神牧場
成育肉牛	88頭
育成肉牛	43頭

(6) 農畜産物売払高

令和4年度 部門別売払高	
部 門	売 払 高
稲 作	4,174 千円
畑 作	27 千円
有 機 作	75 千円
果 樹	4,657 千円
蔬 菜	175 千円
花 卉	178 千円
農産製造物	997 千円
飼 養	24,311 千円
飼 料 作	0 千円
そ の 他	18 千円
合計	34,611 千円

1-3. 循環型森林管理技術分野（第三分野，御明神演習林，滝沢演習林，実験苗畑）

(1) 概要

循環型森林管理技術分野のフィールドは、御明神演習林（岩手県岩手郡雫石町）、滝沢演習林（岩手県滝沢市）の2演習林と実験苗畑（岩手県盛岡市上田）から成っている。二つの演習林は比較的近距離にあるが、地形、地質、気象、植生など立地条件が異なった特徴をもち、それぞれの対照的な立地特性を生かし、森林科学の基礎的研究や応用研究が行われている。また、学生の実験実習や卒論・修論研究の場として活用されているほか、動植物、地質、土壌などに関する自然研究や教育にも広く利用されている。

御明神演習林は、1905（明38）年12月農商務省から国有林の所管換えを受け、本学の前身盛岡高等農林学校附属演習林として設置された。1906（明39）年10月に設置された隣接する岩手大学農学部附属経済農場山林を併合し、現有面積は1,040.34haである。

滝沢演習林は、1913（大2）年3月農商務省から国有林の所管換えを受け設置された。1919（大8）年10月これに北接する国有林の所管換えを受け拡大したが、その後東北本線の線路変更による交換分合、四十四田ダム用地としての建設省への所管換えなどで、地積、形状に変動があり、現有面積は280.51haである。

実験苗畑は、盛岡高等農林学校創設とともに、キャンパス北辺に林学苗圃として設けられ、当初は林学実習場として広く保有していたが、その後大学の諸施設の建設に伴い、現在の下台地区に移転し、現有面積は6,080 m²である。

(2) 教育研究の内容

演習林は農学部における森林に関する教育研究の場として、非常に重要な役割を果たしている。演習林を利用して行われている最近の研究テーマには以下のものがある。

森林科学科：「森林収穫技術の高度化」、「森林路網技術」、「広葉樹二次林構成樹種の生理特性と更新」、「ヒバ林の更新メカニズム」、「スギ人工林における光環境と光合成生産」、「林業用車輛の安定性」、「林業作業の労働負担」、「林業の労働形態」、「複層林地施業」、「ケヤキ林施業」、「斜面侵食と土砂流出」、「中小径広葉樹の材質と利用」、「木材の含有成分」、「GIS・GPS・RSによる森林管理技術」、「森林バイオマス利用と造成」、「森林環境教育」、「森林に対する市民の意識」

この他にも他大学，研究機関などから，林業に関する研究のみではなく広く自然研究にも利用されている。演習林はこれらの研究の場を提供して人的・物的に補助協力するのみではなく，共同研究や独自の基礎的，応用的な調査，研究を実施しており，教育面では，学生の実験実習の場として頻繁に活用されている。

農学部における主要な実習には以下のものがある。

森林測量学実習Ⅰ，森林測量学実習Ⅱ，林道工学実習，砂防学実習，林業生産工学実習，野生動物管理学実習，総合フィールド科学実習，森林計測学実習，森林造成学実習

他学部の実習としては，人文社会科学部の野外生物学実習，教育学部の植物学特別実験が実施されている。

御明神演習林および滝沢演習林は，平成 28 年度から文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており，これまで，鹿児島大学「温帯林概論」，富士大学「フィールドワークⅠ」「フィールドワークⅡ」，岩手県立大学「専門演習入門」「環境調査実習」などを中心に，日本女子大学，早稲田大学，立教大学など幅広い学問領域で学ぶ他大学の実習に利用されている。加えて，全国の大学生を対象とした公開森林実習「森林インターンシップ」「冷温帯林と持続的森林・林業」を実施している。

また，演習林を会場として林業技術者を対象としたフォレストテクニカルエクステンションや一般市民・児童・生徒を対象に森林教育を行うフィールドセミナーも開催されている。

(3) 御明神演習林

地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護 研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術 研究林	計	
1,040.3	265.8	229.9	6.9	263.1	248.4	1,014.1	26.2

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 ^{m³}		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	276.8	116,373	2,813	119,186
天然林	727.7	92,583	70,224	162,807
無立木地，他	35.8	45	28	73
計	1,040.3	209,001	73,065	282,066

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

(4) 滝沢演習林
地種別面積

総面積 ha	学術研究林					計	除地 ha
	生態系保護 研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術 研究林		
280.5	23.6	23.3	33.9	33.9	156.0	270.6	9.9

資料：滝沢演習林第2次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 ^{m³}		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	112.2	61,870	2,363	64,234
天然林	157.4	36,681	14,916	51,596
無立木地, 他	10.9	-	-	-
計	280.5	98,551	17,279	115,830

資料：滝沢演習林第2次森林管理計画書

(5) 林産物の販売（令和4年度）

区 分		販 売 額
素 材	御明神演習林	22,688 千円
	滝沢演習林	15,507 千円
	(小計)	38,195 千円
その他(木工品)	御明神演習林	0 千円
	滝沢演習林	0 千円
	(小計)	0 千円
計		38,195 千円

2 . 附属動物病院

(1) 概要

附属動物病院の前身である家畜病院は盛岡高等農林学校創立の翌年（1903年）に設置されて以来、既に119年の歴史を刻んでいる。戦前戦後長く使われてきた木造建物（1,485 m²）を経て、昭和46年には鉄筋コンクリート造りの本館（1,051 m²）が建造され、昭和53年に入院厩舎（100 m²）、59年に別棟（391 m²）が増築された。以来40年が経過して老朽化し、現在の獣医学教育病院の水準に合致する施設設備とはほど遠い状態が続いていた。この間、平成15年に呼称を動物病院に改め、診療体制の見直しを図ってきた。平成24年度からは本学と東京農工大学とで共同獣医学科を発足させ、双方の大学で獣医学教育を補完しながら、これまで以上に高度化させる体制となった。本学における臨床実習と診療の高度化を図るため、全学からの支援と文部科学省の補助金を使って、平成25年4月に伴侶動物診療棟（総面積1,922 m²）の新築工事が完成し、引き続き旧来の動物病院建物は産業動物診療施設に大改修された。

新築された伴侶動物病院棟は広い待合室、5つの診療室、処置室、犬猫別の入院室、陽圧手術室、各種検査室など高度獣医療を担うに相応しい施設となり、最新の医療機器が設置された。主な診療設備として、MRI診断装置、X線CT撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、超音波断層撮影装置、手術用X線透視装置、デジタル画像データ管理装置、内視鏡、腹腔鏡、硬性鏡、手術顕微鏡、血圧透析装置、ホルター心電計、全自動血液生化学測定装置、電解質・血液ガス分析装置、血球自動計数装置、伴侶動物集中治療用ケージ、麻酔機および麻酔監視装置などがある。平成30年度にはこれまで1室であった外科手術室に加え、施設の改修を行い第二手術室を設置した。令和元年度には、受付業務の簡素化を図り、紙媒体に頼らない診療記録の保存のために、院内ネットワークシステムを構築し電子カルテシステムを導入した。産業動物の臨床教育と研究には、産業動物診療施設を利用するほかに、7名乗りワゴン車、検査機器と冷蔵庫を装備した5名乗りワゴン車、家畜運搬車および自家発電機を搭載して全自動血液生化学測定装置、冷却遠心機、冷凍・冷蔵庫、純水製造装置、携帯用超音波診断装置などを装備した家畜検診車が稼働している。また、治療台、无影灯、顕微鏡、超音波断層撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、麻酔監視装置、血液生化学簡易測定装置、電解質分解装置、血球自動計測装置など一通りの診療機器を装備した犬猫用移動診療車は、東北各県の獣医師会と協定を締結し、災害発生時などに獣医師会に貸し出すなどして被災地域の診療に役立っている。

本学動物病院では産業動物と伴侶動物のバランスのとれた臨床教育をめざし、症例は犬猫だけではなく牛馬も多い。近年では人材は財産との考えから動物病院予算にて雇用するスタッフの充実を図り特任助教4名、更には研修医を2名雇用し診療スタッフの充実を図るとともに、動物看護師も10名まで増員し診療補助スタッフの充実も図っている。さらには産業動物診療を補助するスタッフとして農学部より技術職員を1名、さらに検査室の技術職員を2名派遣していただいている。この取り組みを通じて伴侶動物症例のみならず、牛の外来受診件数を増加させて学生実習に活用すると共に、キャンパス近隣に位置する農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、家畜改良センター岩手牧場、岩手県畜産研究所、小岩井農場技術研究センター、八幡平市繁殖育成センターなどとの協力で臨床実習牛を確保し、臨床教育や研究の充実を図っている。また、岩手県内の農業協同組合や農業共済組合と連携して家畜検診車を使って牛や馬の集団検診を実施している。伴侶動物診療棟の稼働を機に、平成25年から伴侶動物外来診療体制は、原則東北各県の開業獣医師からの紹介症例のみを診察する二次診療体制に移行して、地域の開業医師と連携を図っている。

(2) 診療状況

症例頭数及び収入（令和4年度 単位：頭，円）

	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
診療頭数	1,919	731	-	1,075	84	-	2	1	3,812
金額	116,752,450	30,177,080	-	5,839,550	1,746,626	-	77,630	17,820	154,611,156

学用症例頭数及びこれに要した診療費（令和4年度 単位：頭，円）

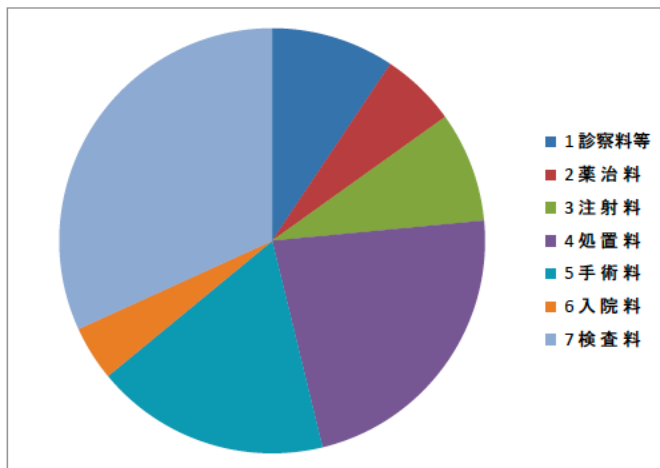
	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
学用頭数	-	-	-	404	1	-	-	-	405
金額	-	-	-	430,230	14,610-	-	-	-	444,840

診療収入の内訳

令和4年度(R4.4.1~R5.3.31 単位：円)

診察科目	金額	割合
1 診察料等	14,491,206	9.4%
2 薬治料	8,859,420	5.7%
3 注射料	12,964,660	8.4%
4 処置料	35,100,110	22.7%
5 手術料	27,575,900	17.8%
6 入院料	6,436,100	4.2%
7 検査料	49,183,760	31.8%
総計	154,611,156	100.0%

令和4年度動物病院収入内訳



(3) 臨床教育の内容

動物病院では4年次、5年次学生に対し小動物内科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物内科学実習1単位、小動物外科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物外科学実習1単位、獣医臨床繁殖学実習1単位、獣医画像診断学実習1単位、総合参加型臨床実習（I, II, V, VI）合計4単位の実習を履修させている。さらに、平成24年度より開始された東京農工大学との共同獣医学科における総合参加型臨床実習V, VIとして、平成28年度より東京農工大学に在籍する5年次学生に対して合計2単位の実習を岩手大学農学部附属動物病院にて履修させている。総合参加型臨床実習は伴侶動物と産業動物診療の総合的な臨床実習で、例年6月から12月初旬まで12週間にわたり火曜日と水曜日に5年次学生を班分けして、伴侶動物は院内にて外来診療動物を、産業動物は附属動物病院所属の獣医師に加え、近隣の獣医師を委嘱して牛の診療実習をさせている。総合診療実習の最終回には全員が担当症例をまとめた発表会を実施している。なお、岩手大学に所属する5年次学生は総合参加型臨床実習III, IVとして東京農工大学動物医療センター（東京都府中市）における臨床実習と本学での農工大教員による対面実習（合計2単位）の実習を履修している。

本年度発表会のプログラムは別表のとおりである。

日時：令和4年11月16日（水）午前10時開始

場所：岩手大学教育学部北桐ホール

令和4年度 フィールド実習症例報告会 プログラム

1. 開会（司会：一條俊浩先生）
2. 開会の挨拶（山崎真大動物病院院長）
3. 発表注意事項（発表時間5分、質疑応答3分）
4. 発表準備（座長、演者スタンバイ）

番号	名前	名前（カナ）	担当教員・獣医師	演題	タイムスケジュール
座長：内田直宏先生					
1	阿部圭悟	アベケイゴ	藤原玲奈先生	門脈血栓を併発した秋田犬の卵巣遺残	10：15～10：23
2	井口七希	イグチナツキ	星野有希先生・内田直宏先生	ミニチュアダックスフンドにおける肺腺癌	10：24～10：32
座長：藤原玲奈先生					
3	鎌田紗帆	カマタサホ	森田智也先生	卵円孔開存を伴う肺動脈狭窄症の犬	10：33～10：41
4	松本帆夏	マツモトホノカ	小林沙織先生	犬の骨転移を疑う尿道移行上皮癌	10：42～10：50
座長：森田智也先生					
5	推野千紜	スイノチヒロ	星野有希先生・内田直宏先生	後肢第三指切除を行った爪下角化棘細胞腫のミニチュアダックスフント	10：51～10：59
6	金山弘俊	カネヤマヒロシ	内田直宏先生	口唇部に見られた犬の上皮向性リンパ腫	11：00～11：08
休憩（10分）					
座長：中田浩平先生					
8	中村胡桃	ナカムラクルミ	内田直宏先生	マルチーズにおける肥満細胞腫の再発	11：18～11：26
9	芹沢里紗	セリザワリサ	内田直宏先生	シーズーの両側性副腎腫瘍	11：27～11：35
座長：南雲隆弘先生					
10	鷹嘴和也	タカノハシカズヤ	森田智也先生	犬の僧帽弁異形成	11：36～11：44
7	桑原多佳子	クワハラタカコ	中田浩平先生・内田直宏先生	コーギーの変性性脊髄症	11：45～11：53
昼食					
座長：金澤朋美先生					
11	森山千寛	モリヤマチヒロ	木村淳先生	ホルスタインの副蹄周囲に発生した趾皮膚炎	13：00～13：08
12	山下莉奈	ヤマシタリナ	田高恵先生・宮崎珠子先生	繁殖成績向上を目指す酪農家の牛群検診	13：09～13：17
13	岩澤明香里	イワサワアカリ	木村淳先生	ホルスタイン種乳牛における子宮直下の膿瘍	13：18～13：26
座長：木村 淳先生					
14	富士村純輝	フジムラアツキ	千葉恵樹先生	ホルスタイン子牛における中節骨近位部の脱臼	13：27～13：35
15	長尾有真	ナガオウマ	高島恵輔先生・木村淳先生	牛パピローマウイルスによる鼻腔内腫瘍が疑われた黒毛和種肉用牛	13：36～13：44
16	神谷 樹	カミヤイツキ	後藤浩子先生	迷走神経性消化不良と診断された黒毛和種育成牛	13：45～13：53
17	柳沼祐亮	ヤギヌマユウスケ	高島恵輔先生・一條俊浩先生	黒毛和種子牛で股関節損傷を認めた大腿骨頭の粉碎骨折	13：54～14：02
休憩（10分）					
座長：木南藍子先生					
18	三宅沙希	ミヤケサキ	千葉恵樹先生	F1肥育牛におけるBLV感染による牛伝染性リンパ腫	14：12～14：20
19	田原彩葉	タハラアヤナ	木村淳先生・落合健爾先生	交雑種の子牛における心奇形	14：21～14：29
20	佐々木杏奈	ササキアanna	木村淳先生	ホルスタイン乳牛における循環障害を伴う乳熱	14：30～14：38
座長：キム・スーウン先生					
21	齊藤雅人	サイトウマサト	木村淳先生	分娩後ケトーシス及び子宮炎を認めたホルスタイン種乳牛	14：39～14：48
22	奈良部妙香	ナラベサヤカ	木村淳先生	脂肪壊死により腸閉塞を起こしたホルスタイン種乳牛	14：49～14：57
23	江崎竜樹	エサキタツキ	増田恒幸先生	ホルスタイン種子牛における牛ウイルス性下痢ウイルスの持続感染	14：58～15：02
座長：高橋正弘先生					
24	榎本武留	エモトタケル	一條俊浩先生	鞭虫による下痢にイベルメクチンを投与した和牛子牛	15：10～15：18
25	蜂矢侑可	ハチヤユカ	木村淳先生	鼻出血が認められたホルスタイン種経産牛の1例	15：19～15：27
26	高橋彩乃	タカハシアヤノ	环早矢梨先生・木村淳先生	眼球摘出に至ったホルスタイン種子牛	15：28～15：36

5. 講評（片山泰章動物病院副院長）

6. 開会

16：00終了予定

3. 附属植物園

(1) 概要

附属植物園は、盛岡高等農林学校創設時（明治 35 年）、敷地東南部に設置され、数年後に現在の教育学部構内北部に移転した。昭和 49 年、大学整備拡充に伴い創立当時の植物園、樹木園、校舎敷地を合わせ現在地に再移転した。面積 49,500 m²、現在 137 科 530 属 800 種以上の木本・草本植物が生育している。本植物園は、植物学を基礎とする農業生命科学や森林科学など幅広い学問分野の研究教育に資するべく、国内外の植物の蒐集に努めるとともに自生種の保護管理に力を入れている。設置以来百年を経過し、都市域では稀少貴重な巨木の杜が各所に形成されている。四季を通じて様々な野鳥が訪れ昆虫相も豊富で、都市域の生物共生系モデルとして注目され、学内活用はもとより、広く学外にも解放され、地域の人々への環境教育の場ともなっている。藩政時代の武家屋敷の庭が忍ばれ、宮沢賢治ゆかりの数々の樹木や石川啄木の妻節子生誕地など盛岡に生きた人々の歴史が随所に残っている。

植物園内北側に建つ農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）は、平成 6 年国指定の重要文化財となった。平成 14 年には開学百周年を迎え、本学ゆかりのメタセコイヤの記念植樹がおこなわれ、賢治モニュメントが設置された。翌 15 年には、植物園内の旧高等農林時代の図書館を岩手大学ミュージアム本館として使用することとなり、報知板や案内板の新設・散策路の補修など多くの整備がなされた。

(2) 主な構成

自啓の森

旧盛岡高等農林学校学生寮「自啓寮」跡地に、岩手の山野に発達する自然林を模し、階層構造を組み込み、郷土森林生態観察モデル林として、昭和 60 年に造成されたアカマツ - コナラ群落、コナラ - クリ群落、ブナ - ミズナラ群落の 3 ブロックで構成され、一隅に「自啓寮跡」の記念碑が建つ。

北水の池

岩手大学環境整備第 1 期計画（昭和 55 年度実施）によって、「北水の池」、「水生植物展示圃」、「築山」が農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）の南東側に造成された。北水の池は昭和 55 年に「破碎転圧工法」（旧農業土木学科農地造成研究会の考案）で造成され、1,350 m²、水深 0.2 ~ 1.2m で、漏水がないことで評価された。池の余水は、水生植物展示圃に流れ込み、經由して東側の土水路に流下し、「湿地帯」へと導かれる。

水生植物展示圃

「自啓の森」が郷土の樹木をモチーフとしたのに対し、本造成では、水分環境傾度を軸とする、草本植物主体の一連の植物配置が計られた、さまざまな湿地条件がもたらす多様な生物層とともに、岩礫山体によって乾性基盤の立体景観をつくりだし、自然、生態系、そして水と緑の修景について、一体的に学べる空間をめざした。展示圃の総面積は 600 m²で、培土層の深さや水深を変えて、6 つの区画が池東端の築山を囲むように並んでいる。本展示圃では、関係する学外の方々とも共同して、展示、試験を行っている。展示圃の区画配置は、0 区（深水）、1 区（中深水）、2 区（浅水）、3 区（中深水）、4 区（深水）、5 区（深水）となっている。

旧高等農林のガラス温室（森の駅ポランハウス）

農業教育資料館南のガラス温室は、大正 14 年に完成し、当時は東北一の規模を誇り、冬でもバナナ、パイナップル、ゴムなどの南洋植物が常緑葉を光らせ、学外からの参観が絶えなかった。長きにわたっての学内事業により改修・整備がなされ、「森の駅ポランハウス」として再スタートし、地域社会に向けた情報発信の場として、また教職員学生が取り組む環境教育や本学に集うものの交流の場として、よく利用されている。

宮澤賢治モニュメント

農業教育資料館南側のドイツウヒのそばに設置されている。賢治の花巻農学校時代も終わりに近い大正 15 年、学校付近の畑で撮った写真がモチーフとなっており、帽子をかぶってうつむいている様はどこかベーターベンに似ている。

旧第一学生寄宿舍前のヒノキ

賢治は、第一寄宿舍（南寮）の一室に居る頃、窓越しに見える若いヒノキを題材に「ひのきの歌」を詠んでいる。今やそのヒノキは、百年の星霜を刻む大成木となり、賢治の心を伝えている。

ポランの日時計

「ポランの広場」の一隅に設置されている。日時計と説明板は、宮澤賢治が愛用した楽器（チェロ）と譜面台の関係を模倣している。太陽による標柱の影を文字盤で読み時刻を計る。盛岡太陽時を基準として作られているため、常用時（明石）との時差として - 25 分と近似差による補正が必要である。

旧第三教練跡地に立つメタセコイヤ

属名メタセコイヤ (*Metasequoia*) は、三木 茂（盛岡高等農林学校、大正 10 年卒業）により命名され世に知られるようになった、かつての学び舎第三教練地の跡地に、本種大成木が見下ろすように立っている。ラクウショウと並びたつ空間は見事な景観を形成している。

旧上田新小路

植物園の中央、東西に小径が残る。この上田新小路一帯は、嘉永時代に新たに開かれた侍屋敷町である。当時、諸士の屋敷割りには、間口 13 間、奥行 25 間、300 坪が基準となっていた。ちなみに石川啄木の妻節子は明治 19 年上田新小路に生まれ幼少期をここで過ごしている。

目時のスギとヒバおよび山邊のマツ

南部藩の時代、家臣団の名門目時家の屋敷は、ヒバ（実はサワラ）やスギを生け垣にしていたようである。初代盛岡市長の目時敬之は本屋敷で生まれ、市長時代はしばしば全職員を招き会合が催された。

旧高等農林学校の通用門を入れてすぐ正面が山邊家の庭にあたる。やはり、当家の庭園は、侍屋敷が並ぶ一体で、ひと際みごとだったと見られる。マツはゴヨウマツ（別名ヒメコマツ）で老大樹の伏臥姿はみごと、当時の侍屋敷の庭が偲ばれる。

(3) 園内概況

珍しい植物

岩手県が南限分布地のもの：ヒメカユウ、アカエゾマツ

岩手県が北限分布地のもの：カヤ、モミ、ヒメクルマミ、ミズメ、イヌシデ、ヤブサンザシ、ニガイチゴ、ヤマニガイチゴ、チドリノキ、オオバアサガラ

岩手県が固有産地のもの：シダレカツラ、モリオカシダレ（サクラ）

西日本が分布地のもの：ヤマコウバシ、ナツツバキ、アオギリ、モクゲンジ、アキニレなど

外国産原種：チョウセンモミ、ブンゲンストウヒ、モンクナマツ、バンクスマツ、ストロブマツ、リキダマツ、メタセコイヤ、ラクウショウ、エンピツビャクシン、ニオイヒバ、コノテガシワ、カシグルミ、シナサワクルマミ、オウシュウシラカンバ、オウシュウブナ、ユリノキ、アメリカスズカケノキ、エンジュ、シンジュ、コブカエデ、トリネコバナカエデ、サトウカエデ、ベニバナトチノキ、キュウエイ、セイコウシナノキ、チョウセンゴシュユ、サンシュユ、クロフネツツジ、アメリカトネリコ、ハナキササゲなど

花

3月下旬 マンサク、ギンドロ、バッコウヤナギ、フクジュソウ、オオイヌノフグリ、ハコベなど

4月上旬 アセビ、レンギョウ、サンシュユ、ウメ、コウバイ、ヒョウガミズキ、アブラチャンなど

中旬 カツラ、シダレカツラ、コブシ、エゾムラサキツツジ、スイセンなど

下旬 エドヒガン、ソメイヨシノ、ミネザクラ、ドウダンツツジ、イタヤカエデ、チドリノキなど

5月上旬 ユキヤナギ、ボケ、ヤマブキ、ハクモクレン、シバザクラ、ヒメオドリコソウ、チューリップなど

中旬 ヤマツツジ、クロフネツツジ、モクレン、リキユウバイ、シロヤマブキ、キリなど

6月上旬 ボタン、ハナショウブ、カキツバタ、ヒトツバタゴ、ハクウンボク、ミズキなど

- 中旬 シャクヤク, ショウブ, ケアサガラ, エゴノキ, ユリノキ, ミヤコワスレ, フランスギク
など
- 下旬 ハナキササゲ, イボタノキ, ナツハゼ, スイレン, サツキ, ニワフジ, ウメモドキ, シャ
スターデージー, ムラサキツユクサ, セイヨウノコギリソウなど
- 7月 ナツツバキ, アジサイ, セイヨウシナノキ, ネムノキ, ムラサキシキブ, ノリウツギ, ジ
ャノヒゲなど
- 8月 エンジュ, サルスベリ, ムクゲ, オオウバユリ, ヤブラン, ミズヒキ, オオハンゴンソウな
ど
- 9月 アキニレ, ヤマハギ, ミヤギノハギ, マルバハギ, ハナタデ, イヌタデなど
- 10月 ハナゾノツクバネウツギ, ノコンギク, ホトトギス, ミゾソバ, キクイモ, キンエノコロ,
ハマギクなど

(4) 令和4年度 植物園・ガラス温室利用状況

植物園

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月1日	ラジオ体操	ポランラジオ体操の会	40名程度	令和4年11月30日まで
4月22日	総合的な探究の時 間における植物や 自然理解のための 散策	岩手県立杜陵高等学校	41名	
4月23日	新入生に対する体 験会並びに練習会	オリエンテーリング部	20名	
4月27日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	69名	
5月13日	探索・ザリガニ釣 り	わかば会うえだ保育園	24名	
5月13日	総合的な探究の時 間における植物や 自然理解のための 散策	岩手県立杜陵高等学校	41名	
5月20日	総合的な探究の時 間における植物や 自然理解のための 散策	岩手県立杜陵高等学校	41名	
5月23日	散策・ザリガニ釣 り	くるみ子ども会	50名	
5月25日	「総合的な学習の 時間」の一環とし て訪問	弘前市立第二中学校	5名	
5月31日	植物葉に含まれる 光合成炭酸固定酵 素の活性測定のため の葉のサンプリ ング	応用生物化学科 鈴木雄 二 教授	3名	令和5年3月31日まで

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
6月3日	総合的な探究の時間における植物や自然理解のための散策	岩手県立杜陵高等学校	22名	
6月7日	生活科学習	盛岡市立上田小学校	50名	
6月9日	テレビ撮影	岩手めんこいテレビ	1名	
6月15日	スイレンの撮影	岩手日報	1名	
6月15日	スイレンの撮影	盛岡タイムス	1名	
6月21日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	69名	
6月29日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	23名	
6月30日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	54名	
6月30日	触察の学習に使用する竹の採取	岩手県立盛岡視覚支援学校	1名	
6月30日	七夕用の竹の採取	岩手大学生生活協同組合	3名	
7月1日	生活科学習	盛岡市立桜城小学校	103名	
7月2日	公開講座の実施による使用	森林科学科 松木佐和子講師	6名程度	
7月4日	生活科学習	盛岡市立上田小学校	50名	
7月6日	生け花用の花材の採取	岩手大学華道部	2名	
7月8日	生活科学習	盛岡市立河北小学校	65名	
7月14日	桑の葉及びドクダミ採取	野草の会	8名	
7月15日	総合的な探究の時間における地域理解のための散策	岩手県立杜陵高等学校	23名	
7月27日	ザリガニ釣り	盛岡市立河北児童センター	30名	
8月20日	夏の親子自然教室	盛岡市上田公民館	22名	
8月24日	総合的な探究の時間における地域理解のための散策	岩手県立杜陵高等学校	23名	
8月26日	生け花用のアジサイの採取	岩手大学華道部	1名	
9月10日	ウェディングフォト撮影	ホテルメトロポリタン NEW WING	10名	
9月11日	課外活動	岩手大学オリエンテーリング部	10名程度	

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
9月12日	調査用の竹の採取	植物生命作物研究室	3名	
9月22日	遠足	盛岡市立緑が丘小学校	121名	
9月26日	散策・ザリガニ釣り	くるみ子ども会	25名	
10月8日	植物園見学	岩手医大附属なかよし保育園 父母の会	45名	
10月11日	桑の葉採取	野草の会	5名	
10月14日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	70名	
10月28日	植物園観察	盛岡医療生協河東支部	14名	
10月29日	うえだ交流まつり (岩手大学との共催事業)	上田商店街協同組合理事長 中川善功 氏	約300名	
11月8日	柿の採取	野草の会	5名	
11月18日	花巻市 里山講習会の樹木見学	わが流域環境ネット	20名	
11月21日	柿の採取	Nature Circle けらけら	15名	
12月10日	課外活動	岩手大学オリエンテーリング部	6名	
1月23日	アブラムシを中心とした昆虫類の調査	北海道立総合研究機構 農業研究本部 上川農業試験場 生産技術グループ 佐々木大介 氏	1名	
3月23日	卒業記念写真撮影	共同獣医学科 学生	5名	

ガラス温室

月 日	行事	使用者	人 数	備考
4月1日	植物の播種・育苗	岩手大学環境マネジメント学生委員会	約30名	緑のカーテン等のため 令和5年3月31日まで
10月29日	うえだ交流まつり (岩手大学との共催事業)	上田商店街協同組合理事長 中川善功 氏	約300名	

この他、ガラス温室修繕のため、休憩スペース等は閉鎖した。

4 . 附属農業教育資料館

(1) 概要

岩手大学農学部附属農業教育資料館は、明治35年3月に我が国最初の高等農林学校として設置された盛岡高等農林学校の本館で、大正元年12月に竣工した。この旧本館は、青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建て総面積約1,007㎡の欧風建物で、他に便所や校舎との間をつなぐ渡り廊下が付属していた。当時一階は、校長室、事務室、会議室等として、また二階の大講堂（446.3㎡）は学内の諸儀式に使用されていたが、昭和24年、学制改革により岩手大学が設置されてからは、大学本部として一階は学長室、事務室などに利用されていた。昭和49年に大学本部が現在地に移転後、老朽化が激しくなったため、昭和52年11月に修復され、翌53年から岩手大学農学部附属農業教育資料館として活用されるようになった。農業教育資料館は、盛岡高等農林学校開校以来、今日の農学部に至る農業教育関係の資料および宮澤賢治在学中の資料を主に展示公開するとともに、二階講堂は学内の入学、卒業にかかわる諸儀式、ならびに学会、研修会、諸会議などに広く活用されてきた。その後、農業教育資料館は平成6年に再度大修復工事が行われ、装いも新たに再出発した。

この農業教育資料館（旧本館）は、明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構の一つであり、改造が少なく保存状態も良好で、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物であることにより、平成6年7月2日、門番所と旧正門（土塁の一部を含む）を含め、重要文化財に指定された。

なお、平成24年4月23日～同年10月31日までを工期として、耐震化工事が行われ、ほぼ大正元年の竣工当時の姿に復元された。この工事に合わせて、展示資料の整理とリニューアルが行われ、平成25年5月31日には岩手大学農学部創立110周年記念式典が二階講堂にて挙行された。

(2) 展示資料

盛岡高等農林学校設立の経緯から現在までの歴史的な変遷、高農時代の実験器具類、当時の教官の研究業績関連資料の一部（鈴木梅太郎博士研究報告、大獄了博士遺品、内田繁太郎博士の笹標本）、その他初代玉利喜造校長、関豊太郎教授の冷害関係研究資料や後年の関教授の手帳、教材用剥製標本、図譜類、写真、学生のノート、組織標本の顕微鏡スケッチ、事務関係書類等の歴史的資料、卒業生著書、寄贈図書、専門図書の一部等を展示している。

宮澤賢治関係資料としては、在学当時の「校友会会報」、「注文の多い料理店」の原本、賢治および同級生らの卒業論文、「岩手県稗貫郡地質及び土性調査報告書」、「アザリア」（一部）、「雨二モマケズ」、恩師関豊太郎教授宛「手紙」等の複写および賢治全集、学生時代の写真、関豊太郎教授の賢治追想の文、賢治在学時代の地質調査用具、岩石標本作製用器材、鉱物・岩石標本、賢治が高農時代に採取した岩石および盛岡周辺の探索マップ、賢治が作った顕微鏡用岩石薄片、その当時に使われた教材、賢治と小野寺伊勢之助教授に関する資料、その他賢治に師事した松田甚次郎関係の資料等を展示している。

(3) 令和4年度入館者数

単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
172	332	220	264	119	314	221	273	27	36	64	239	2,281

(4) 農業資料館収蔵資料の他施設・団体への貸出実績

相手先	目的	貸出情報
(株)ツインズジャパン	映画「銀河鉄道の父」制作	盛岡高農時代の校章
(株)中外医学社	脳神経系専門月刊誌掲載	鈴木梅太郎肖像画像

相手先	目的	貸出情報
(株)千代田ラフト	放送大学「ネコのマタタビ反応の謎」番組制作	資料館外観，賢治像写真
長瀬町文化財保護審議会	定期発行誌「文芸ながとろ」掲載	地質旅行記の行程図
杜陵高速印刷(株)	学会プログラム・抄録集表紙掲載	資料館外観，賢治像写真
杜陵高速印刷(株)	オリジナルカレンダー挿し絵掲載	資料館外観（版画）
長瀬町文化財保護審議会	冊子「長瀬の昔と今」掲載	石の標本写真等
花巻市総合文化財センター	企画展「早池峰の花を紹介した人々」写真パネル展示	須川長之助遺品類写真
杜陵高速印刷(株)	研究会研究集録表紙掲載	資料館外観，賢治像写真
杜陵高速印刷(株)	オリジナルメモ帳製作	資料館外観（版画）
(株)DNP コミュニケーションデザイン	オリジナルカレンダー挿し絵掲載	資料館外観（水彩画）
テレコムスタッフ(株)	テレビ朝日「あなたの駅前物語」番組制作	資料館外観撮影
NHK	宮沢賢治没後 90 年企画番組制作	宮沢賢治関連資料撮影

5 . 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS)

(1) 概要

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) は、「健康な家畜の生産から加工・流通を経て食卓に至るまで」いわゆるFarm to Tableで食の安全・安心に関する科学を学際的・横断的に希求し、その成果を地域と世界に発信する拠点として、2006年4月1日に設置されました。FAMSは現在4つの部門：企画調整部門、食の安全部門、動物生産部門および環境放射線衛生学部門で構成され、主に以下の活動を行っています。

食の安全に関する分野横断的な卒後教育・学部教育の提供
動物医療，家畜衛生，食品衛生等に関する研究推進
食品に関する学際的・横断的な教育研究連携拠点の形成

この中でも特に卒後教育には力を入れており、分野を問わず食に関わる人を対象にした「全体研修会」のほか、各分野の人を対象にした「部門別研修会」を企画調整部門を除く3部門で開催している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で止むを得ず部門別研修会の開催を中止とした。

近年、食の安全確保においてHACCP (Hazard Analysis and Critical Control Points) やGAP (Good Agricultural Practice) 方式が国際標準となり、食に関する事業者はその導入が求められている。FAMSでは東北地域の関係団体とともに「東北農場HACCP研究会」を設立し、農場におけるHACCP導入に対する支援活動も行っている。また、岩手県内に所在する国、自治体、あるいは民間の試験研究機関等と「岩手Farm to Tableフォーラム研究会」を設立し、分野横断的な勉強会を定期的で開催するとともに、地域連携の推進にも努めている。「岩手Farm to Tableフォーラム研究会」は、今年度は諸般の事情により開催を見送った。

(2) 活動内容

FAMS 事業推進委員会

動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) の運営方針や事業内容について、大学外の行政機関・民間企業と意見交換をする目的で設置された委員会であり、令和4年度は1回開催された。

令和4年度 FAMS 事業推進委員会

- ・開催期間：令和4年7月19日(火)~7月29日(金) 【書面審議】
- ・参加人数：FAMS 事業推進委員会 22名

卒後教育活動

第19回 FAMS 全体研修会及び第9回東北 HACCP 研究会

- ・テーマ：「農業マネジメントと飼養衛生管理」
- ・開催日：令和4年9月21日(水)
- ・場所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ぼらんホールならびに Webex を用いた同時配信
- ・参加人数：63名(学外：30名，学内および関係者：33名)

地域連携活動

家畜病態解析に関わる農業共済組合 (NOSAI) とのネットワーク構築

- ・期間：平成29年~

FAMS 共催・協賛事業

(ア) 6大学共同開催フォーラム

- ・テーマ：10年，20年後の食の安全を考える
- ・開催日：令和5年3月9日(木)
- ・場所：大阪公立大学 I-site なんば

- ・主催：大阪府立大学食品安全科学研究センター，東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター，神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター，東北大学大学院農学研究科附属食と農免疫国際教育研究センター，宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

(イ) 令和4年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター 新規採用獣医職員研修会

- ・開催日：令和4年11月30日(水)～12月2日(金)
- ・場所：岩手大学 農学部5号館
- ・主催：NOSA東北家畜臨床研修センター(事務局NOSAI岩手)
- ・共催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
" 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

(ウ) 令和4年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター新規採用獣医職員(追加)研修会

- ・開催日：令和5年2月27日(月)～3月1日(水)
- ・場所：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主催：NOSA東北家畜臨床研修センター(事務局NOSAI岩手)
- ・共催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
" 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

研究活動

日本中央競馬会畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」

- ・期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・補助金総額：28,524,000円(令和4年度)
- ・研究代表：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・研究分担：NOSAI 東北家畜臨床研修センター，農研機構 動物衛生研究部門，等

成果発表会

FAMS 成果発表会および JRA 畜産振興事業にかかる BLV 研修会

- ・開催日：令和5年2月20日(月)13時30分～15時30分
- ・場所：岩手大学総合教育研究棟(生命系)ぼらんホール
並びにオンライン(Webex)・オンデマンドによる開催
- ・参加人数：56名

会議開催実績

- | | |
|--------------|----|
| (ア) 運営委員会 | 2回 |
| (イ) 企画調整部門会議 | 4回 |

6 . 農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）

(1) 概要

岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター(Farm Animal Clinical Skills and Disease Control Center; FCD)は、産業動物臨床教育と実践的な参加型臨床実習を行う拠点として産業動物臨床教育の向上を支援すること、並びに家畜疾病制御に係る教育研究体制を整備し、学部・大学院・卒後教育を行うとともに産業動物分野を支える獣医師人材を育成する拠点を構築することを目的とし、令和4年6月に設立された。FCDは3つの部門：企画調整部門、産業動物実習部門および感染症制御部門で構成され、主に以下の活動を行っている。

産業動物臨床に関する実践的参加型臨床実習の提供および卒後教育の提供
重要な家畜伝染病の制御・診断・予防法に関わる研究

(2) 活動内容

部門共通開催

1) 岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）設立記念シンポジウム

・【産業動物実習部門の講演】

テーマ：「産業動物臨床・疾病制御教育研究センターの実践教育と先端研究に期待する」

講師：岩手大学名誉教授 佐藤 繁 氏

テーマ：「臨床現場の症例を軸にした産業動物獣医学教育研究の展開」

講師：東京大学大学院農学生命科学研究科附属動物医療センター 教授 猪熊 壽 氏

・【感染症制御部門の講演】

テーマ：「口蹄疫とアフリカ豚熱等の越境性疾病の現状と対策」

講師：宮崎大学客員教授・麻布大学客員教授 坂本 研一氏

テーマ：「感染症制御のための戦略と戦術」

講師：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究部門疫学・昆虫媒介感染症グループ長 山本 健久 氏

・開催日：令和5年3月7日（火）13:00～17:00

・参加人数：120名(対面40名,Web80名)

2) ホームページの開設

産業動物実習部門活動実績

1) 参加型臨床実習

・開催日：令和4年6月20日（月）～25日（土）

・参加人数：東京農工大学 44名

2) 中央畜産会 産業動物臨床実習

・開催日：令和4年8月22日（月）～26日（金）

・参加人数：7大学9名

3) リカレント教育「産業動物のX線検査」

・開催日：令和4年11月26日（土）

・講師：麻布大学 山田一孝教授

・参加人数：獣医師28名 本学学生5名参加（協賛：むつの会）

4) リカレント教育「乳房炎対策としてのワクチンの使用と現状」

・開催日：令和5年3月25日（土）

・講師：共立製薬 山崎世使子

- ・参加人数：獣医師 27 名 本学学生 3 名参加（協賛：むつの会）

感染症制御部門活動実績

- 1) 八幡平市繁殖育成センターの BLV 検査
- 2) FAMS 第 19 回全体研修会（共催）
- 3) 外国人招致セミナー
 - ・テ ー マ：「ヨーロッパにおける家畜衛生の現状」
 - ・講 師：Prof. Massimo Giangaspero, University of Teramo
 - ・開 催 日：令和 4 年 10 月 14 日（金）15：00～

FCD 共催・協賛事業

- 1) 令和 4 年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター 新規採用獣医職員研修会
 - ・開 催 日：令和 4 年 11 月 30 日（水）13 時～12 月 2 日（金）12 時
 - ・会 場：岩手大学 農学部 5 号館
 - ・主 催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
 - ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
 "：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
 - ・参加人数：10 名
- 2) 令和 4 年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター新規採用獣医職員(追加)研修
 - ・開 催 日：令和 5 年 2 月 27 日（月）13 時～17 時
 - ・会 場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
 - ・主 催：NOSA 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
 - ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
 "：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
 - ・参加人数：11 名
- 3) 令和 4 年度 日本獣医師会「農場管理専門獣医師育成高度専門的・実践的研修会（乳牛コース）」
 - ・開 催 日：令和 5 年 2 月 27 日（月）～ 3 月 1 日（水）
 - ・会 場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
 - ・主 催：日本獣医師会
 - ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
 "：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
 - ・参加人数：11 名
- 4) 令和 4 年度 日本獣医師会「農場管理専門獣医師育成高度専門的・実践的研修会（養豚コース）」
 - ・開 催 日：令和 5 年 3 月 15 日（水）～ 3 月 17 日（金）
 - ・会 場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
 - ・主 催：日本獣医師会
 - ・共 催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
 "：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
 - ・参加人数：10 名

会議開催実績

- 1) 運営委員会 2 回
- 2) 企画調整部門会議 6 回
- 3) 外部評価委員会 1 回

事務組織等

1. 事務組織

事務長	安 藤 範 夫
学部運営グループ	
主査（副事務長）	大 森 弘 光
主査	普 入 一 恵
主査	石 井 敬 之
主査	山 口 真 一
主任	菅 野 麻 莉 子
主任	中 澤 弘 明
主任	小 松 敬 子
事務職員（再雇用）	清 水 千 香 子
事務補佐員	藤 原 こ ず へ
事務補佐員	大 下 和 枝 子
事務補佐員	佐 藤 徳 志 織
事務補佐員	姫 野 市 香 織
臨時用務員	種 市 香 織
寒冷フィールドセンターグループ	
主査（副事務長）	黒 澤 喜 一
主任	佐々木 敬 規
事務職員（再雇用）	長 代 健 児
事務職員（再雇用）	小野寺 昭 好
事務補佐員	新 山 美 恵 子
事務補佐員	九 翟 里 美
臨時用務員	高 橋 真 由 美
連合大学院グループ	
主査（副事務長）	伊 藤 真 理 子
主査	山 根 康 介
主任	相 川 和 慶 子
主事	高 橋 智 子 代
事務補佐員	川 戸 道 代
地域連携推進室	
特任研究員	吉 田 力 子
事務補佐員	安 海 桂 子
事務補佐員	西 川 由 香 紀
事務補佐員	岡 田 早 紀

令和4年10月1日現在

2. 令和4年度予算関係

支出額

（単位：円）

区 分	学 部	附属寒冷フィールドサイ エンス教育研究センター	合 計
運 営 費	102,930,101	74,021,318	176,951,419
外 部 資 金	214,532,012	2,466,124	216,998,136
合 計	317,462,113	76,487,442	393,949,555

学部には連大分を含まない。

3. 職員の動向

(1) 教育職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【昇 任】			
4. 4. 1	教授（応用生物化学科）	鈴木 雄二	准教授（応用生物化学科）
5. 3. 1	教授（植物生命科学科）	磯貝 雅道	准教授（植物生命科学科）
”	教授（植物生命科学科）	立澤 文見	准教授（植物生命科学科）
”	教授（植物生命科学科）	畠山 勝徳	准教授（植物生命科学科）
”	教授（植物生命科学科）	ラマン アドゥール	准教授（植物生命科学科）
”	教授（応用生物化学科）	伊藤 芳明	准教授（応用生物化学科）
”	准教授（植物生命科学科）	川原田泰之	助教（植物生命科学科）
【昇任・配置換】			
4.10. 1	連合農学研究科 教授	原科 幸爾	准教授（食料生産環境学科）
【退 職】			
5. 3.31	定年退職	塚本 知玄	教授（応用生物化学科）
”	定年退職	寺嶋 淳	教授（共同獣医学科）
”	定年退職	庄野 浩資	准教授（食料生産環境学科）
”	定年退職	小田 伸一	准教授（動物科学科）
”	退職	金山 素平	教授（食料生産環境学科）
”	退職	三宅 諭	教授（食料生産環境学科）

(2) 事務職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【配置換】			
4. 4. 1	農学部事務長	安藤 範夫	法人運営部経理課長
"	農学部学部運営グループ主査(副事務長)	大森 弘光	研究・地域連携部釜石キャンパス事務室釜石キャンパスグループ主査(副課長)[兼:釜石キャンパス事務室長]
"	農学部連合大学院グループ主査(副事務長)	伊藤真理子	教育学部附属学校グループ主査[附属中学校]
"	農学部主任	中澤 弘明	戦略企画・評価分析室主事
"	農学部主任[動物病院]	小松 敬	法人運営部経理課主任
"	農学部主任[連合大学院]	相川 和慶	学務部国際課主任
"	農学部事務職員(再雇用)[滝沢農場]	長代 健児	人文社会科学部事務職員(再雇用)
"	学務部学務課教養教育・教務企画グループ主査(副課長)	常川 里美	農学部連合大学院グループ主査(副事務長)
"	学務部学生支援課課外活動グループ主査(副課長)	櫻田 美幸	農学部学部運営グループ主査
"	研究・地域連携部釜石キャンパス事務室釜石キャンパスグループ主査(副課長)[兼:釜石キャンパス事務室長]	佐藤 光展	農学部学部運営グループ主査(副事務長)
"	法人運営部人事課人事グループ主査	竹原 裕二	農学部連合大学院グループ主査
"	学務部学生支援課主事	齋藤 友輝	農学部主事[動物病院]
"	人文社会科学部事務職員(再雇用)	布谷 明雄	農学部事務職員(再雇用)[動物病院]
4. 7. 1	農学部主任	菅野麻莉子	法人運営部経理課主任
"	学務部学生支援課主任	井上 早苗	農学部主任[連合大学院]
"	学務部国際課主事	對馬 一圭	農学部主事
【出向復帰】			
4. 4. 1	農学部寒冷フィールドセンターグループ主査(副事務長)	黒澤 喜一	放送大学岩手学習センター事務長
【採用】			
4. 4. 1	農学部事務職員(再雇用)[動物病院]	清水千香子	

(3) 技術職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【昇 任】 4. 4. 1	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員	佐々木修一	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門職員
”	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員	西 政佳	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門職員
”	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員	村上 政伸	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門職員
”	農学系技術部農学系第二技術室森林 ・環境グループ技術専門職員	菅原 大輔	農学系技術部農学系第二技術室森林 ・環境グループ技術職員
【退 職】 5. 3.31	定年退職	村上 政伸	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員

令和5年9月30日発行

発行 **岩手大学農学部**

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL 019-621-6103

FAX 019-621-6107

発行責任者 岩手大学農学部長 伊藤 菊一

IWATE UNIVERSITY

*FACULTY
OF
AGRICULTURE*